

5カ国の訪日外国人に聞く

日本の“食”

2023年4月

# 目次

■調査企画	1
-------	---

■調査結果の内容	5
----------	---

1. 滞在時に食べた日本の料理、このうち初めて食べた料理、最もおいしかった料理	7
---	---

滞在時に食べた日本の料理は、「寿司」(68.3%)が突出して多く、以下「天ぷら」(47.2%)、「ステーキ・焼肉」(46.9%)、「ラーメン」(46.3%)、「うどん・そば」(45.8%)など。

●国別では、ほとんどの項目で《フランス》が高い割合。

このうち初めて食べた料理は、やはり「寿司」(26.5%)が最も多く、以下「すき焼き」(19.7%)、「天ぷら」(19.6%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(19.3%)、「ステーキ・焼肉」(18.0%)の順。

●やはり《フランス》で高い割合となっている項目が多い。

最もおいしかった料理は、やはり「寿司」(19.4%)が最も多く、以下「ステーキ・焼肉」(9.2%)、「すき焼き」(8.0%)、「うなぎ・うな重」(7.4%)、「天ぷら」(6.9%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(6.4%)などの順。

●《中国》では「寿司」(7.0%)よりも「うなぎ・うな重」(11.7%)、「刺身」(11.3%)などの方が高い。

2. 日本に滞在したとき、どこで食事をしたり食材を買ったりしたか	11
----------------------------------	----

「レストラン」(74.4%)が最も多く、以下「ホテルのレストラン」(43.3%)、「屋台」(42.9%)、「旅館のレストラン」(33.7%)といった場所で食事をしたり、「コンビニエンスストア」(39.7%)、「スーパーマーケット」(35.3%)、「ショッピングモール」(27.6%)、「デパートの地下」(24.8%)で食材を購入したりしている。

3. 滞在時に食べた“日本ならではの食材”、このうち初めて食べた食材、最もおいしかった食材	13
---	----

滞在時に食べた“日本ならではの食材”は、「わさび」(49.0%)、「生魚」(47.7%)が多く、以下「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(42.8%)、「松茸」(42.2%)、「生野菜」(42.2%)、「たけのこ」(39.6%)、「海苔、ワカメなど海藻」(38.5%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(37.5%)などの順。

●総じて《フランス》で高く、《中国》で低い割合の項目が多い。

このうち初めて食べた食材は、「松茸」(19.0%)、「生魚」(18.9%)、「わさび」(17.7%)のほか、「納豆」(17.3%)、「ごぼう」(15.3%)もあげられる。

●《フランス》で高く、《韓国》で低い割合の項目が多い。

最もおいしかった食材は、「生魚」(13.9%)、「松茸」(9.3%)、「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(9.3%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(9.2%)などの順で、好みが見られる。

●各国でトップになっているのは、《アメリカ》《中国》《韓国》では「生魚」(順に 12.0%、15.3%、16.7%)、《イギリス》では「松茸」(14.7%)、《フランス》では「餅」(17.3%)。

4. 日本の食事（食事マナー）で印象に残っているもの..... 17

「食前食後に挨拶をする」(50.9%)をはじめ、「健康に配慮する」(44.1%)、「お箸を使う」(40.8%)、「食器を持ち上げて食べる」(37.8%)、「旬のものを食べる」(36.8%)など、さまざまなことが印象に残っている。

●《アメリカ》《イギリス》で高い割合の項目が多い。《韓国》では「食器を持ち上げて食べる」(47.3%)が他の国と比べて多い。

5. 日本の食について、驚いたこと・感心したこと..... 19

「味がいい」(45.7%)、「盛り付けが美しい」(42.7%)、「メニューが豊富」(41.8%)、「バランスが良い」(38.8%)、「食材が新鮮」(37.5%)、「いろいろな味付けがある」(36.8%)、「食材自体がいい」(36.3%)など、さまざまなことに驚き、感心している。

●総じて《アメリカ》《イギリス》《フランス》では高く、《中国》《韓国》では低い割合の項目が多い。

6. 自国の日本食と、日本で食べた日本食は違ったか..... 21

「とても違った」(45.8%)、「やや違った」(40.8%)を合わせた“違った” (86.7%)という回答が大半。

●“違った”の割合は《中国》(97.0%)、《フランス》(92.7%)で高く、《イギリス》(74.0%)、《韓国》(79.0%)は比較的低い。

7. 自国の日本食と日本で食べた日本食のどちらがおいしいと思ったか..... 22

「日本で食べた日本食」(59.5%)、「どちらかという日本で食べた日本食」(26.7%)を合わせた“日本” (86.2%)が大半を占める。

●“日本”とする割合は《中国》(98.3%)、《アメリカ》(95.0%)、《イギリス》(93.9%)では9割台、《フランス》(87.9%)も8割台だが、《韓国》(60.7%)は6割程度と比較的低い。

8. 日本食は好きか..... 24

「とても好き」(62.1%)、「まあ好き」(32.0%)を合わせた“好き” (94.1%)の割合は9割を超える。

●“好き”の割合はほとんどの国で100%近くを占めるが、《韓国》(83.0%)だけは8割程度と比較的low。

◆日本食が好きな理由は、「味が好みだから」(61.6%)が最も多く、以下「食材が新鮮だから」(49.2%)、「健康によいから」(25.8%)、「見た目が良いから」(18.7%)、「安全だから」(14.9%)など。

9. 普段、自国で日本食をどのくらいの頻度で食べるか..... 26

「1週間に一度程度」が2割強(22.8%)で最も多いが、以下「1か月に一度程度」(16.2%)、「半月に一度程度」(15.8%)、「4、5日に一度程度」(14.3%)、「2、3日に一度程度」(14.1%)など、人によるバラつきが多い。

●《イギリス》では「毎日」(15.3%)の割合が高いのが目を引く。

10. 自国で知られている日本の料理、自国で最も人気がある日本の料理、自国で最も食べたいと思う日本の料理 ..... 27

自国で知られている日本の料理は、「寿司」(56.3%)が最も多く、以下「ラーメン」(48.5%)、「うどん・そば」(43.7%)、「刺身」(42.1%)、「天ぷら」(39.8%)、「どんぶりもの(かつ丼、海鮮丼、親子丼、牛丼など)」(39.1%)、「味噌汁」(38.2%)、「カレーライス」(37.9%)など、多くの料理があげられる。

●「寿司」が最も多くなっている国がほとんどで、特に《フランス》(74.7%)、《韓国》(78.0%)で多いが、《中国》(31.7%)ではかなり低めで、総じて《中国》では他の国に比べて低い。

自国で最も人気がある日本の料理は、「寿司」(26.0%)が抜きん出て高く、以下「刺身」(7.5%)、「ラーメン」(7.1%)、「うどん・そば」(5.7%)、「うなぎ・うな重」(5.6%)、「とんかつ」(5.4%)などの順。

●「寿司」の割合が最も高い国が多く、特に《フランス》(43.3%)、《韓国》(39.0%)で高い。一方、《中国》(9.7%)では1割未満と低い。

自国で最も食べたいと思う日本の料理は、「寿司」(16.8%)がやはり最も多いが、以下「刺身」(8.0%)、「ラーメン」(6.8%)、「うなぎ・うな重」(6.7%)、「うどん・そば」(5.7%)、「天ぷら」(5.5%)などさまざまで、回答が分かれる。

●「寿司」をあげる割合は《フランス》(24.7%)、《韓国》(28.7%)で特に高く、《イギリス》(6.7%)、《中国》(6.7%)では低い。

11. 自国で知られている日本の食品・食材、自国で最も人気がある食品・食材、自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材 ..... 31

自国で知られている日本の食品・食材は、「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(48.7%)をはじめ、「お酒(日本酒、焼酎など)」(43.3%)、「即席めん」(40.4%)、「牛肉」(40.4%)などさまざま。

●《フランス》では総じて高く、《中国》では低い割合の項目が多い。

自国で最も人気がある食品・食材は、「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(17.2%)がやはり最も多く、以下「お酒(日本酒、焼酎など)」(9.7%)、「即席めん」(9.3%)、「牛肉」(8.8%)、「米」(6.2%)などさまざま。

●《中国》《韓国》《イギリス》では「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(順に 22.0%、28.0%、14.0%)が最も多いが、《アメリカ》《フランス》では「即席めん」(順に 13.0%、18.0%)が最も多い。

自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材は、やはり「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(17.4%)が最も多いが、次いで「牛肉」(9.3%)が2位で、以下「お酒(日本酒、焼酎など)」(8.6%)、「お菓子(スナック、和菓子など)」(8.3%)。

●「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」が最も多い国が多く、特に《中国》(21.7%)、《韓国》(28.0%)で多い。一方、《フランス》では「即席めん」(16.7%)が最も多い。

◆自国で最も食べたい食品・食材を選択した理由は、「味が良い」(54.1%)が半数以上、次いで「新鮮」(24.1%)、「食感が良い」(17.7%)の順。「値段が手ごろ」(3.1%)という回答は少ない。

12. また日本に行きたいと思うか ..... 36

「とても行きたい」(70.7%)、「まあ行きたい」(27.0%)を合わせた「行きたい」(97.7%)という回答がほとんど。

●「とても行きたい」の割合に限ると、《韓国》(51.3%)では半数程度で、他の国の7割台に比べて低い。

13. また日本に行ったら、何が食べたいか..... 37

「寿司」(58.7%)がやはり最も多く、以下「ステーキ・焼肉」(39.8%)、「天ぷら」(37.5%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(37.2%)、「ラーメン」(36.4%)などの順。

●いずれの国でも「寿司」が最も多いが、《アメリカ》《中国》では次いで「ステーキ・焼肉」(順に 49.0%、38.3%)、《イギリス》では「天ぷら」と「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(ともに 42.0%)、《フランス》では「ラーメン」と「焼き鳥」(ともに 43.9%)、《韓国》では「ラーメン」(43.8%)が、それぞれ2位。



# 調査企画

## 1. 調査目的

この調査は、世界5カ国の男女で、この10年以内に日本に滞在したことのある人を対象に、日本の“食”に対する意識と実態を探ることを目的に実施しました。

## 2. 調査対象

世界5カ国（アメリカ、イギリス、フランス、中国、韓国）の男女で、この10年以内に日本に滞在したことのある人

## 3. 調査方法

Web ページを用いたインターネット法

## 4. 調査期間

2023年3月20日（月）～3月27日（月）

## 5. 標本構成

有効回収1200名の標本構成は以下の通りです（上段：サンプル数、下段：構成比 %）。

### F1. エリア

サンプル数	アメリカ	イギリス	フランス	中国	韓国
1200	300	150	150	300	300
100.0	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0

### F2. 性別

	サンプル数	男性	女性
全体	1200 100.0	606 50.5	594 49.5
アメリカ	300 100.0	159 53.0	141 47.0
イギリス	150 100.0	88 58.7	62 41.3
フランス	150 100.0	87 58.0	63 42.0
中国	300 100.0	91 30.3	209 69.7
韓国	300 100.0	181 60.3	119 39.7

F3. 年代

	サンプル数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	平均(歳)
全体	1200 100.0	- -	195 16.3	606 50.5	276 23.0	88 7.3	35 2.9	37.6
アメリカ	300 100.0	- -	57 19.0	153 51.0	66 22.0	14 4.7	10 3.3	36.8
イギリス	150 100.0	- -	31 20.7	97 64.7	16 10.7	4 2.7	2 1.3	34.5
フランス	150 100.0	- -	40 26.7	68 45.3	32 21.3	7 4.7	3 2.0	35.6
中国	300 100.0	- -	26 8.7	207 69.0	65 21.7	2 0.7	- -	35.9
韓国	300 100.0	- -	41 13.7	81 27.0	97 32.3	61 20.3	20 6.7	42.7

F4. 一番最近いつ頃に日本に行ったか

	サンプル数	半年以内	1年以内	3年以内	5年以内	10年以内
全体	1200 100.0	294 24.5	315 26.3	307 25.6	205 17.1	79 6.6
アメリカ	300 100.0	83 27.7	68 22.7	81 27.0	50 16.7	18 6.0
イギリス	150 100.0	58 38.7	39 26.0	35 23.3	10 6.7	8 5.3
フランス	150 100.0	17 11.3	38 25.3	48 32.0	32 21.3	15 10.0
中国	300 100.0	86 28.7	119 39.7	70 23.3	24 8.0	1 0.3
韓国	300 100.0	50 16.7	51 17.0	73 24.3	89 29.7	37 12.3



F5. 日本に行った目的(複数回答)

	サンプル数	仕事	観光	ショッピング	食べ歩き	友人・知人・家族に会いに	その他
全体	1200 100.0	260 21.7	1026 85.5	624 52.0	532 44.3	196 16.3	12 1.0
アメリカ	300 100.0	76 25.3	250 83.3	182 60.7	174 58.0	80 26.7	5 1.7
イギリス	150 100.0	22 14.7	130 86.7	88 58.7	85 56.7	43 28.7	1 0.7
フランス	150 100.0	20 13.3	140 93.3	50 33.3	33 22.0	23 15.3	3 2.0
中国	300 100.0	98 32.7	238 79.3	198 66.0	141 47.0	26 8.7	1 0.3
韓国	300 100.0	44 14.7	268 89.3	106 35.3	99 33.0	24 8.0	2 0.7



## 調査結果の内容



# 1. 滞在時に食べた日本の料理、このうち初めて食べた料理、最もおいしかった料理

滞在時に食べた日本の料理は、「寿司」(68.3%)が突出して多く、以下「天ぷら」(47.2%)、「ステーキ・焼肉」(46.9%)、「ラーメン」(46.3%)、「うどん・そば」(45.8%)などの順。

●国別では、ほとんどの項目で《フランス》が高い割合。

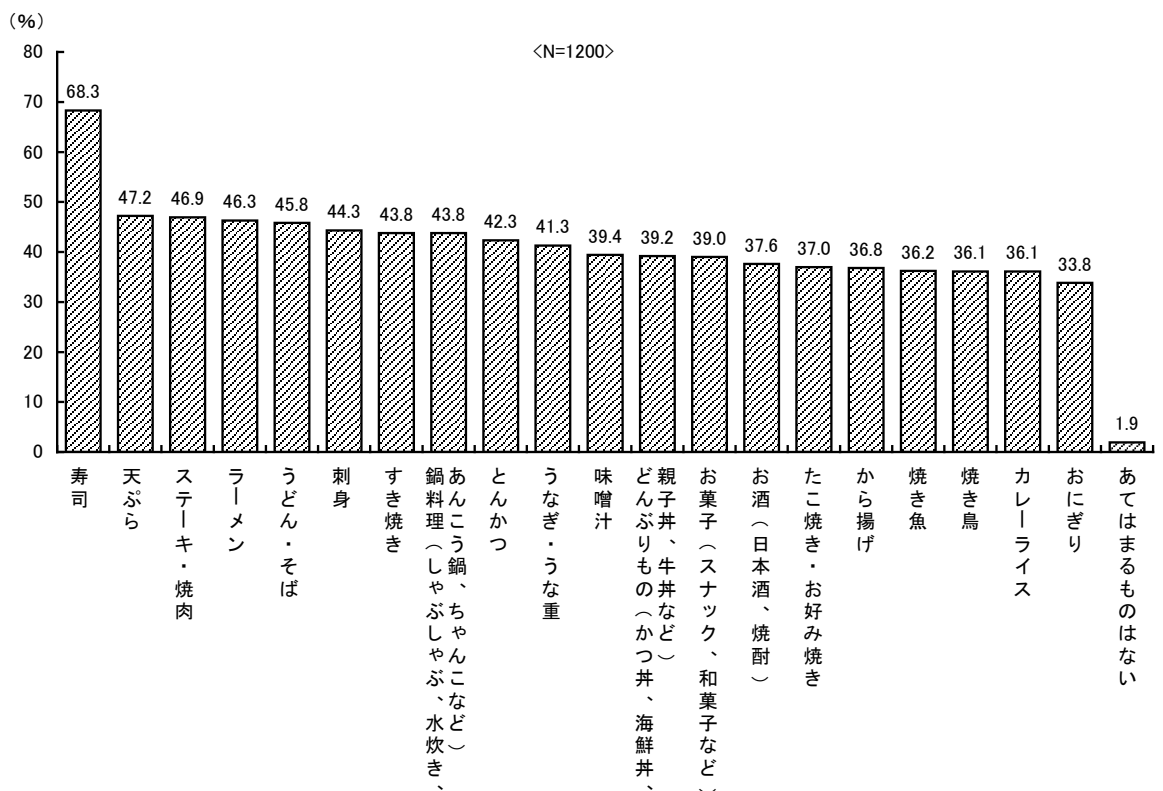
このうち初めて食べた料理は、やはり「寿司」(26.5%)が最も多く、以下「すき焼き」(19.7%)、「天ぷら」(19.6%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(19.3%)、「ステーキ・焼肉」(18.0%)の順。

●やはり《フランス》で高い割合となっている項目が多い。

最もおいしかった料理は、やはり「寿司」(19.4%)が最も多く、以下「ステーキ・焼肉」(9.2%)、「すき焼き」(8.0%)、「うなぎ・うなぎ重」(7.4%)、「天ぷら」(6.9%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(6.4%)などの順。

●《中国》では「寿司」(7.0%)よりも「うなぎ・うなぎ重」(11.7%)、「刺身」(11.3%)などの方が高い。

図 1. 滞在時に食べた日本の料理 (複数回答)



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>										
アメリカ <n=300>	71.0	48.7	51.3	44.7	39.0	42.7	39.7	46.0	41.7	37.3	39.0	37.7	43.3	39.7	35.0	43.0	40.7	35.0	40.0	33.3	4.3
イギリス <n=150>	64.7	53.3	44.0	40.7	38.7	41.3	47.3	33.3	42.7	40.0	34.7	40.0	30.7	22.7	36.7	34.0	39.3	36.7	33.3	38.0	-
フランス <n=150>	84.0	62.0	58.7	63.3	54.0	60.7	54.0	58.0	48.0	47.3	64.0	60.7	58.0	60.7	48.7	48.7	55.3	66.7	57.3	52.7	6.7
中国 <n=300>	48.7	39.7	39.7	26.0	36.0	44.0	45.7	35.7	32.3	42.0	25.7	26.7	22.7	23.3	32.0	29.3	29.0	29.0	32.7	27.3	-
韓国 <n=300>	79.0	42.7	45.3	62.7	62.0	39.7	39.0	47.7	49.7	42.3	43.7	42.0	45.7	45.7	38.3	33.7	27.7	28.7	26.3	29.3	-
男性 <n=606>	72.6	48.7	51.2	49.2	46.9	45.5	42.9	43.7	43.1	41.4	41.6	42.2	39.3	42.2	35.5	38.8	37.5	37.8	37.1	35.1	2.6
女性 <n=594>	63.8	45.6	42.6	43.4	44.8	43.1	44.6	43.8	41.4	41.2	37.2	36.0	38.7	32.8	38.6	34.8	34.8	34.3	35.0	32.5	1.2
29歳以下 <n=195>	69.7	48.2	52.8	54.4	50.3	55.9	46.7	50.3	48.2	45.6	51.8	51.3	51.3	48.7	49.2	47.7	42.6	45.6	47.2	46.2	3.6
30代 <n=606>	66.2	49.2	45.7	40.9	41.4	41.4	46.9	41.6	40.3	40.3	34.8	35.6	35.0	33.5	35.3	38.1	35.8	36.3	36.6	34.2	1.5
40代 <n=276>	68.5	40.2	47.5	46.4	46.4	44.9	38.8	43.8	42.4	40.6	41.3	35.9	38.8	35.5	33.3	32.2	33.0	34.4	31.5	29.7	2.2
50歳以上 <n=123>	75.6	51.2	42.3	60.2	59.3	39.0	35.0	43.9	42.3	41.5	38.2	44.7	39.8	44.7	34.1	23.6	35.0	23.6	26.0	22.0	0.8

滞在時に食べた日本の料理は、「寿司」(68.3%)が突出して多く、唯一半数を超えています。以下、「天ぷら」(47.2%)、「ステーキ・焼肉」(46.9%)、「ラーメン」(46.3%)、「うどん・そば」(45.8%)、「刺身」(44.3%)、「すき焼き」

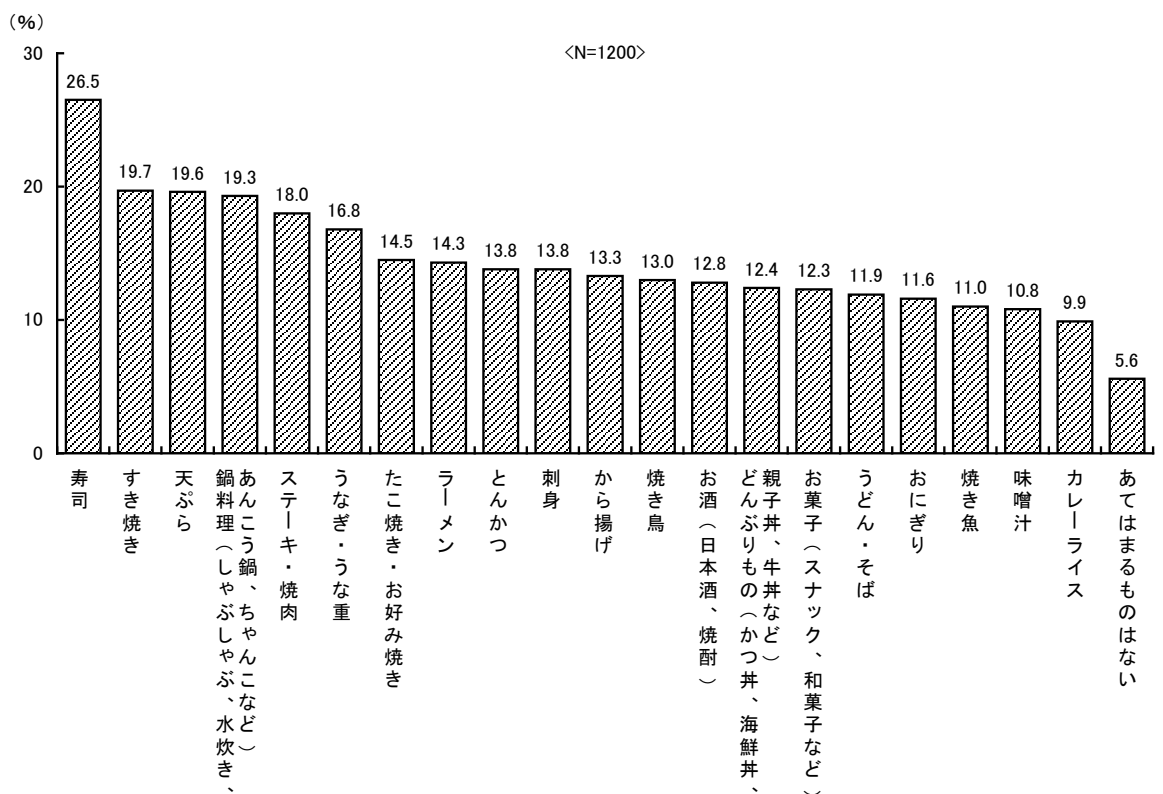
(43.8%)、「鍋料理（しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど）」(43.8%)、「とんかつ」(42.3%)、「うなぎ・うな重」(41.3%)などの順となっています。

国別にみると、ほとんどの項目で《フランス》が高い割合で、《中国》では総じて低い割合です。

性別にみると、「寿司」(男性 72.6%、女性 63.8%)をはじめ、少しずつながら《男性》の方が高い割合の項目が多く、日本で多くの料理を食べているようです。

年代別にみると、総じて若い人ほど高い割合の項目が多く、特に「刺身」「すき焼き」「お菓子（スナック、和菓子など）」「たこ焼き・お好み焼き」「焼き鳥」などでその傾向が強くなっています。

図 2. 滞在時に初めて食べた日本の料理（複数回答）



属性	国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>										
国別	アメリカ <n=300>	36.7	14.7	20.0	13.3	17.3	12.7	12.0	13.7	12.0	12.0	13.0	7.0	8.7	10.3	10.3	10.0	12.3	11.0	8.3	4.7	
国別	イギリス <n=150>	36.0	20.0	26.7	14.7	16.7	13.3	12.7	13.3	16.0	10.7	10.0	9.3	4.0	13.3	10.0	8.0	12.0	7.3	7.3	0.7	
国別	フランス <n=150>	31.3	39.3	32.7	39.3	32.0	30.0	32.7	28.0	28.0	26.7	31.3	34.0	34.7	30.0	30.7	21.3	25.3	23.3	24.7	20.0	10.0
国別	中国 <n=300>	21.0	21.7	21.3	14.7	14.3	20.7	12.3	10.3	12.7	20.3	12.7	10.0	10.3	7.7	9.3	12.7	12.0	10.0	7.3	12.0	-
国別	韓国 <n=300>	14.7	12.7	7.3	22.3	16.0	12.0	11.0	12.7	8.7	4.3	7.7	7.3	14.7	11.7	9.3	9.0	7.7	4.0	9.0	5.7	12.3
性別	男性 <n=606>	27.6	19.3	21.3	19.8	21.1	16.7	13.2	14.9	14.5	13.5	12.7	13.5	13.0	14.2	11.1	11.4	12.0	10.7	12.0	8.9	6.8
性別	女性 <n=594>	25.4	20.0	17.8	18.9	14.8	16.8	15.8	13.8	13.1	14.1	13.8	12.5	12.6	10.6	13.6	12.5	11.1	11.3	9.6	10.9	4.4
年代	29歳以下 <n=195>	30.3	22.1	23.6	29.2	23.1	14.9	24.6	14.9	19.5	19.5	24.6	20.0	20.5	21.5	22.1	16.4	15.4	13.3	17.9	17.4	4.6
年代	30代 <n=606>	28.2	22.6	22.9	16.2	17.2	17.3	11.6	14.4	13.5	13.4	11.9	11.7	10.6	10.6	10.4	10.2	10.9	11.1	8.6	8.7	3.8
年代	40代 <n=276>	25.0	17.0	14.5	20.7	16.7	18.5	15.6	13.8	13.4	14.5	11.6	14.1	13.8	10.1	11.6	11.6	12.7	12.3	12.3	9.1	7.2
年代	50歳以上 <n=123>	15.4	7.3	8.1	16.3	17.1	13.0	10.6	14.6	7.3	5.7	5.7	5.7	9.8	12.2	8.1	13.8	6.5	4.1	7.3	5.7	12.2

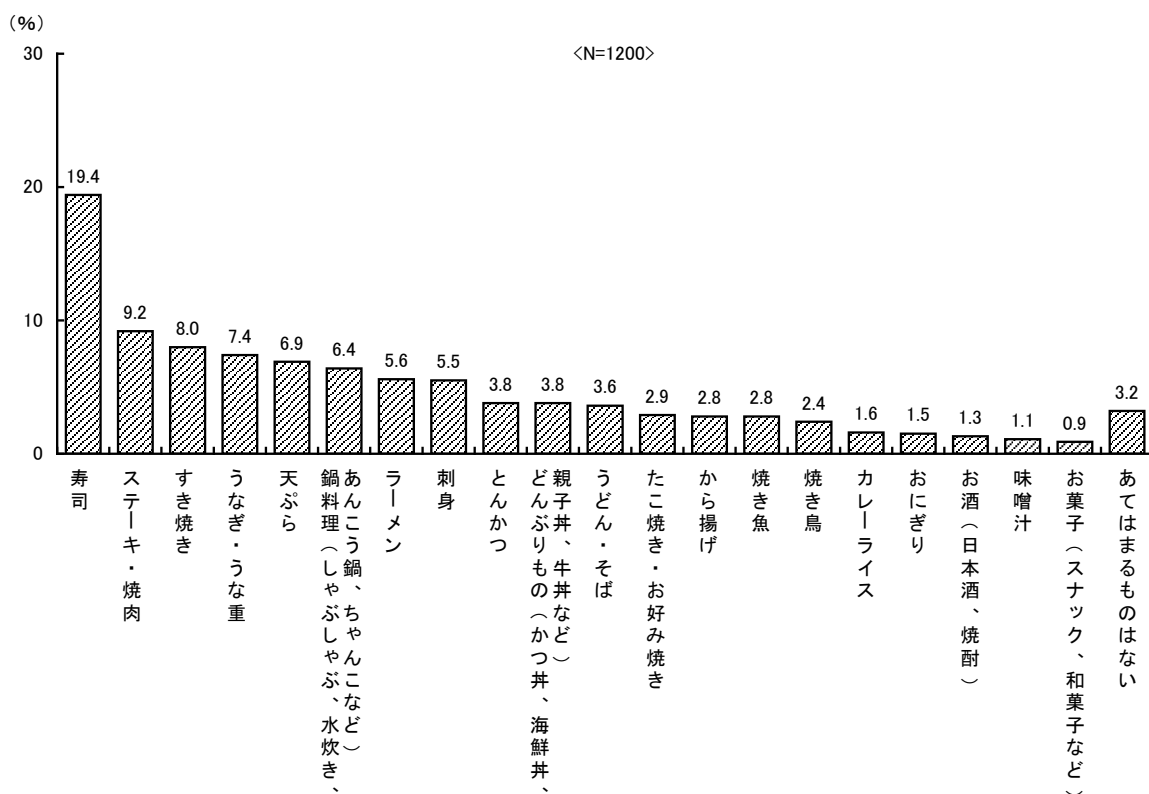
次いで、滞在時に初めて食べた日本の料理をみると、やはり「寿司」(26.5%)が最も多く、以下「すき焼き」(19.7%)、「天ぷら」(19.6%)、「鍋料理（しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど）」(19.3%)、「ステーキ・焼肉」(18.0%)、「うなぎ・うな重」(16.8%)、「たこ焼き・お好み焼き」(14.5%)、「ラーメン」(14.3%)などの順で、【滞在時に食べた日本の料理】と比べ、「すき焼き」「鍋料理（しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど）」「うなぎ・うな重」が上位にあげられています。

国別にみると、やはり《フランス》で高い割合となっている項目が多く、日本でいろいろな料理に挑戦していることがうかがえます。

性別ではあまり大きな差はみられません。

年代別にみると、総じて若い人ほど高い割合の項目が多くなっています。

図 3. 最もおいしかった日本の料理



属性	国別	性別	年代	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
国別	アメリカ <n=300>	25.3	9.7	7.3	3.0	6.0	6.7	6.3	4.3	4.7	3.0	2.0	2.3	4.0	2.7	3.3	1.3	0.7	-	1.7	0.3	5.3			
	イギリス <n=150>	20.0	11.3	12.7	7.3	12.7	7.3	3.3	1.3	5.3	4.7	2.0	0.7	2.0	1.3	1.3	0.7	2.0	1.3	0.7	2.0	-			
	フランス <n=150>	18.7	6.0	7.3	3.3	6.0	6.7	6.0	2.7	-	2.0	4.7	2.7	2.0	4.0	7.3	2.7	2.0	2.0	1.3	2.0	10.7			
	中国 <n=300>	7.0	7.7	11.0	11.7	9.0	6.3	3.3	11.3	4.3	2.3	4.7	4.7	3.7	3.7	1.0	2.3	2.7	1.3	1.0	1.0	-			
	韓国 <n=300>	26.0	10.7	3.7	9.7	3.3	5.7	8.0	4.3	3.3	6.7	4.3	3.0	1.7	2.0	1.0	1.0	0.7	2.0	0.7	0.3	2.0			
性別	男性 <n=606>	22.4	10.9	8.3	5.9	6.9	5.8	5.3	5.0	4.5	4.3	2.8	1.3	2.3	2.3	2.5	1.0	1.0	1.5	1.0	0.8	4.3			
	女性 <n=594>	16.3	7.4	7.7	8.9	6.9	7.1	5.9	6.1	3.0	3.4	4.4	4.5	3.4	3.2	2.4	2.2	2.0	1.0	1.2	1.0	2.0			
年代	29歳以下 <n=195>	19.5	6.7	5.6	2.1	5.6	10.3	6.2	6.2	1.5	4.6	1.5	2.6	4.6	2.6	4.1	3.1	1.0	2.1	2.6	2.6	5.1			
	30代 <n=606>	16.7	10.9	11.4	9.1	8.6	5.4	5.1	5.6	4.3	2.6	3.0	2.0	3.3	2.8	2.0	1.5	1.5	0.7	0.8	0.5	2.3			
	40代 <n=276>	23.6	6.9	4.0	7.2	5.1	5.4	6.5	6.2	4.7	4.0	4.3	4.3	1.8	2.9	2.9	1.1	2.5	1.8	0.7	1.1	2.9			
	50歳以上 <n=123>	23.6	9.8	4.1	8.1	4.9	7.3	4.9	2.4	2.4	8.1	8.1	4.9	-	2.4	0.8	0.8	-	1.6	0.8	-	4.9			

最後に、最もおいしかった日本の料理は、やはり「寿司」(19.4%)が最も多くなっています。以下は1割未満になりますが、「ステーキ・焼肉」(9.2%)、「すき焼き」(8.0%)、「うなぎ・うな重」(7.4%)、「天ぷら」(6.9%)、「鍋料理（しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど）」(6.4%)、「ラーメン」(5.6%)、「刺身」(5.5%)などの順となっています。

国別にみると、やはり「寿司」が最も高い国が多くなっていますが、《中国》(7.0%)では少なく、《中国》で最も多いのは「うなぎ・うな重」(11.7%)となっています。

性別にみると、「寿司」は《男性》(22.4%)の方が《女性》(16.3%)よりも6ポイントほど多くなっているのが

最も大きな差で、総じて大きな性別差はみられません。

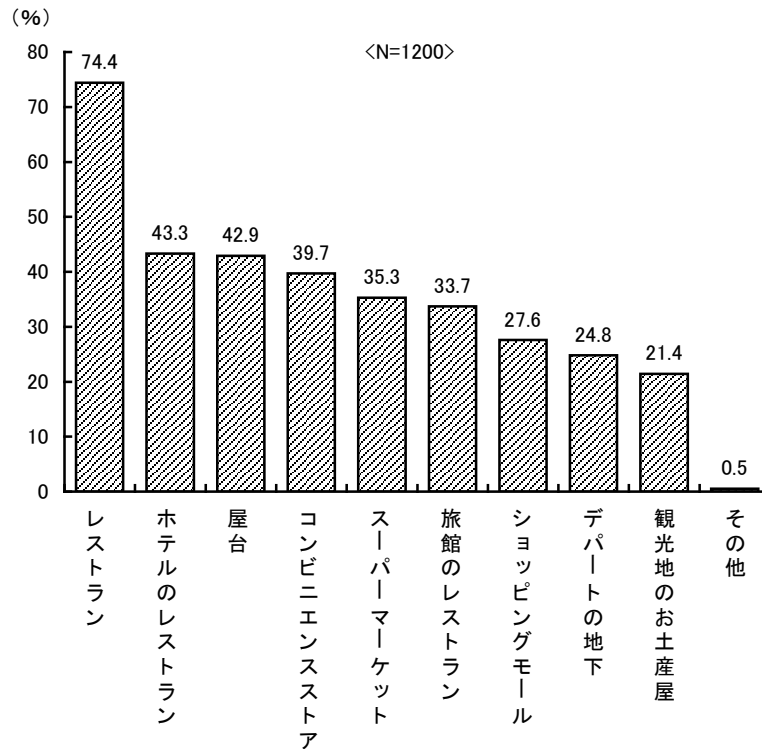
年代別でも大きな差はありません。



## 2. 日本に滞在したとき、どこで食事をしたり食材を買ったりしたか

「レストラン」(74.4%)が最も多く、以下「ホテルのレストラン」(43.3%)、「屋台」(42.9%)、「旅館のレストラン」(33.7%)といった場所で食事をしたり、「コンビニエンスストア」(39.7%)、「スーパーマーケット」(35.3%)、「ショッピングモール」(27.6%)、「デパートの地下」(24.8%)で食材を購入したりしている。

図 4. 日本に滞在したとき、どこで食事をしたり食材を買ったりしたか（複数回答）



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>						
	レストラン	77.0	70.0	89.3	75.3	65.7					
ホテルのレストラン	60.7	58.0	42.7	27.0	35.3						
屋台	45.3	58.7	56.7	19.0	49.7						
コンビニエンスストア	49.3	43.3	30.7	22.7	49.7						
スーパーマーケット	53.0	45.3	40.7	14.7	30.7						
旅館のレストラン	38.3	32.7	14.7	46.3	26.3						
ショッピングモール	33.3	28.0	34.0	14.0	32.0						
デパートの地下	29.7	29.3	18.7	23.0	22.3						
観光地のお土産屋	30.3	15.3	13.3	24.0	17.0						
その他	0.7	-	-	0.3	1.0						
性別	男性 <n=606>	73.6	45.7	45.0	41.4	36.8	33.7	28.9	22.9	21.1	0.5
	女性 <n=594>	75.3	40.9	40.7	37.9	33.8	33.7	26.3	26.6	21.7	0.5
年代	29歳以下 <n=195>	75.9	45.6	51.3	48.7	43.1	26.7	31.3	24.1	17.4	0.5
	30代 <n=606>	75.2	43.4	38.1	35.1	33.7	38.4	25.7	24.6	20.8	0.3
	40代 <n=276>	71.7	39.1	44.2	46.0	37.7	33.0	30.1	27.9	28.6	0.7
	50歳以上 <n=123>	74.0	48.8	50.4	33.3	26.0	22.8	25.2	19.5	14.6	0.8

日本に滞在したとき、どこで食事をしたり食材を買ったりしたかをみると、「レストラン」(74.4%)をほぼ4人に3人があげて最も多くなっています。以下、「ホテルのレストラン」(43.3%)、「屋台」(42.9%)、「旅館のレストラン」(33.7%)といった場所で食事をしたり、「コンビニエンスストア」(39.7%)、「スーパーマーケット」(35.3%)、「ショッピングモール」(27.6%)、「デパートの地下」(24.8%)、「観光地のお土産屋」(21.4%)といった場所で食材を購入したりしています。

国別にみると、いずれも「レストラン」が最も多くなっていますが、特に《フランス》(89.3%)で多くなっています。また、「ホテルのレストラン」は《アメリカ》(60.7%)と《イギリス》(58.0%)、「屋台」は《イギリス》(58.7%)と《フランス》(56.7%)で特に多くなっています。また、《中国》では、「屋台」(19.0%)、「スーパーマーケット」

(14.7%)、「ショッピングモール」(14.0%)の割合が他国と比べて低いのが目立ちます。

性別にみると、総じて《男性》の方が《女性》よりも高い割合の項目が多くなっていますが、あまり大きな差ではありません。

年代別にみると、「スーパーマーケット」をあげる割合は《29歳以下》の若い人で高くなっています。

### 3. 滞在時に食べた“日本ならではの食材”<sup>(※)</sup>、このうち初めて食べた食材、最もおいしかった食材

(※) 日本特有の食材、または外国人が珍しいと感じる可能性のある食材を調査選択肢として置いたものです。

滞在時に食べた“日本ならではの食材”は、「わさび」(49.0%)、「生魚」(47.7%)が多く、以下「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(42.8%)、「松茸」(42.2%)、「生野菜」(42.2%)、「たけのこ」(39.6%)、「海苔、ワカメなど海藻」(38.5%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(37.5%)などの順。

●総じて《フランス》で高く、《中国》で低い割合の項目が多い。

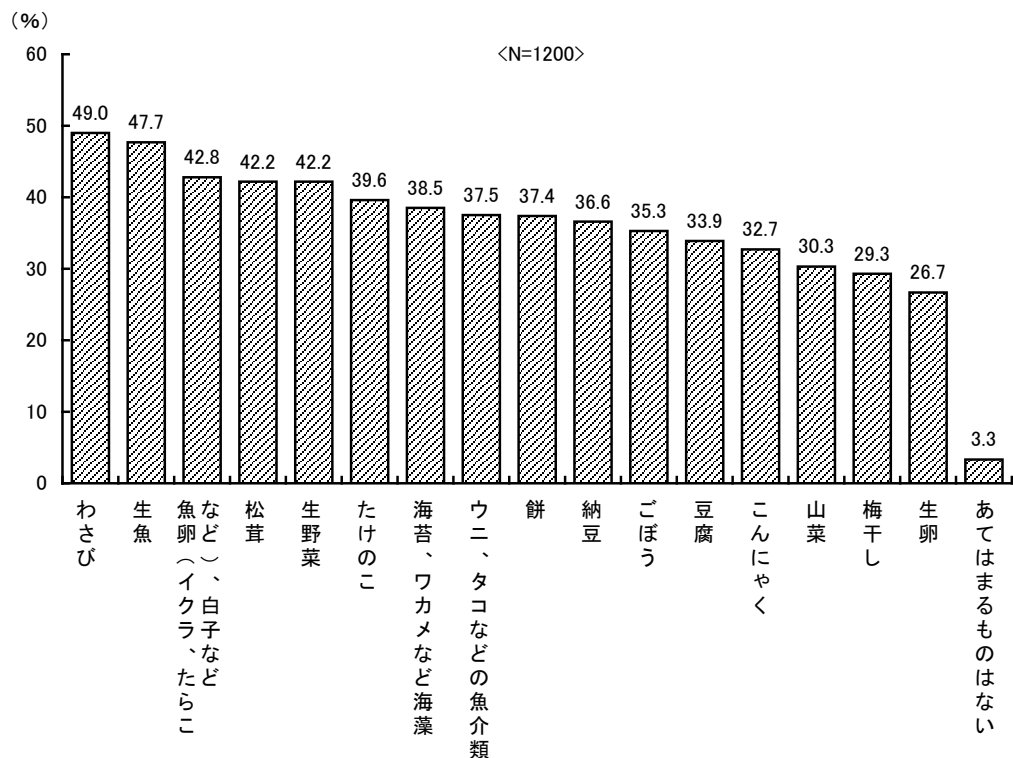
このうち初めて食べた食材は、「松茸」(19.0%)、「生魚」(18.9%)、「わさび」(17.7%)のほか、「納豆」(17.3%)、「ごぼう」(15.3%)もあげられる。

●《フランス》で高く、《韓国》で低い割合の項目が多い。

最もおいしかった食材は、「生魚」(13.9%)、「松茸」(9.3%)、「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(9.3%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(9.2%)などの順で、好みが見られる。

●各国でトップになっているのは、《アメリカ》《中国》《韓国》では「生魚」(順に 12.0%、15.3%、16.7%)、《イギリス》では「松茸」(14.7%)、《フランス》では「餅」(17.3%)。

図 5. 日本滞在時に食べた“日本ならではの食材” (複数回答)



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>
	わさび	54.7	45.3	61.3	36.3
生魚	47.7	46.0	58.0	45.7	45.3
魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など	38.0	44.7	47.3	37.0	50.0
松茸	46.7	50.7	60.0	39.7	27.0
生野菜	49.0	51.3	56.0	35.0	31.0
たけのこ	42.0	37.3	56.0	37.7	32.0
海苔、ワカメなど海藻	41.7	38.0	52.7	35.0	32.0
ウニ、タコなどの魚介類	35.3	38.0	44.7	36.0	37.3
餅	42.0	48.7	59.3	26.0	27.7
納豆	26.3	38.0	36.7	32.0	50.7
ごぼう	36.0	34.0	40.0	40.3	28.0
豆腐	35.7	31.3	53.3	20.3	37.3
こんにゃく	28.7	32.0	43.3	29.0	35.3
山菜	40.0	28.7	44.7	27.0	17.3
梅干し	23.7	20.0	40.0	19.7	43.7
生卵	26.7	32.0	34.7	25.0	21.7
あてはまるものはない	4.7	-	6.0	0.3	5.0
性別	男性 <n=606>	女性 <n=594>			
	52.0	46.0			
生魚	51.0	44.3			
魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など	45.5	39.9			
松茸	44.2	40.1			
生野菜	43.2	41.1			
たけのこ	41.1	38.0			
海苔、ワカメなど海藻	36.6	40.4			
ウニ、タコなどの魚介類	38.4	36.5			
餅	36.8	38.0			
納豆	38.8	34.3			
ごぼう	34.0	36.7			
豆腐	37.0	30.8			
こんにゃく	32.2	33.2			
山菜	31.4	29.1			
梅干し	30.4	28.1			
生卵	26.2	27.1			
あてはまるものはない	4.0	2.5			
年代	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>	
	48.2	50.5	46.0	49.6	
	51.8	45.2	49.3	49.6	
	48.7	40.4	44.9	39.8	
46.7	42.9	43.1	29.3		
43.1	43.2	40.9	38.2		
41.0	41.9	33.7	39.0		
47.7	38.4	32.6	37.4		
40.5	37.1	38.8	31.7		
52.8	37.1	32.2	26.0		
35.4	35.8	35.9	43.9		
42.1	39.6	27.2	22.0		
40.0	31.0	34.8	36.6		
35.9	33.3	32.6	24.4		
36.4	33.3	24.3	18.7		
33.3	27.9	26.4	35.8		
32.8	29.0	22.8	13.8		
4.1	2.0	3.6	7.3		

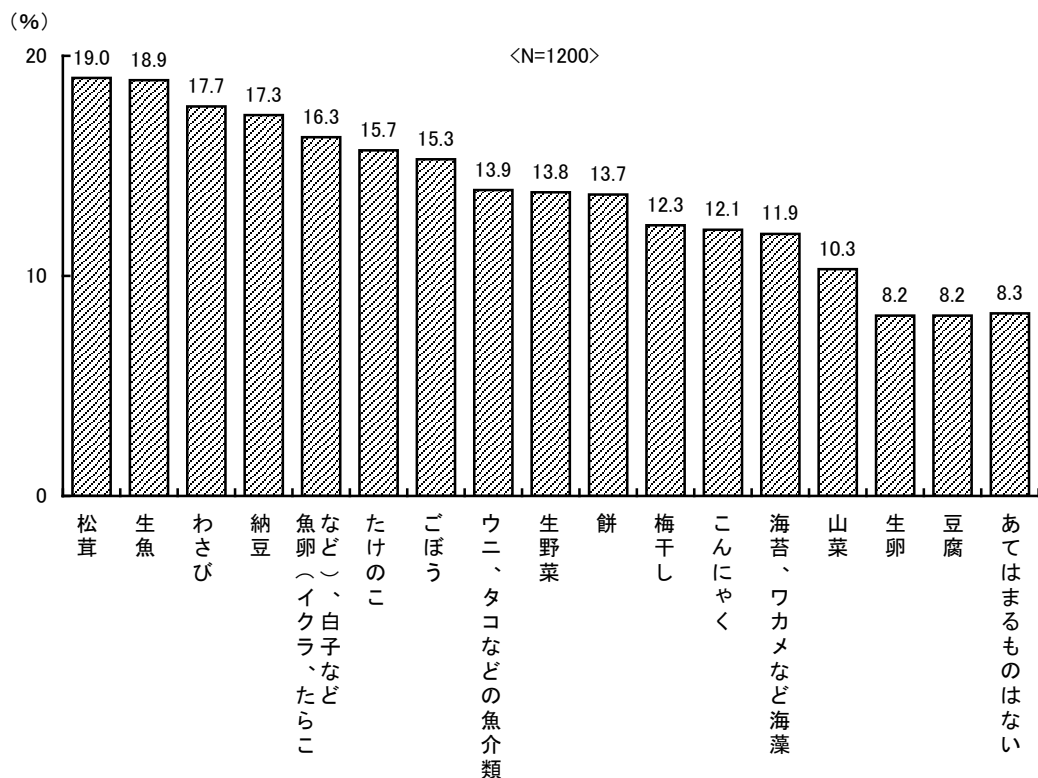
まず、滞在時に食べた”日本ならではの食材 “は、「わさび」(49.0%)、「生魚」(47.7%)が半数近くで多く、寿司や刺身を食べた人が多かったことがうかがえます。以下、「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(42.8%)、「松茸」(42.2%)、「生野菜」(42.2%)、「たけのこ」(39.6%)、「海苔、ワカメなど海藻」(38.5%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(37.5%)、「餅」(37.4%)、「納豆」(36.6%)、「ごぼう」(35.3%)、「豆腐」(33.9%)、「こんにゃく」(32.7%)、「山菜」(30.3%)などの順となっています。

国別にみると、「生魚」「松茸」「たけのこ」など、《フランス》で高い割合となっている項目が多くを占めています。一方、《中国》では総じて低めです。また、《韓国》では「納豆」(50.7%)の割合が高いのが目につきます。

性別にみると、「わさび」(男性52.0%、女性46.0%)、「生魚」(同51.0%、44.3%)、「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(同45.5%、39.9%)など、少しずつながら《男性》の方が高い割合の項目が多くなっています。

年代別にみると、総じてあまり大きな差はありませんが、「海苔、ワカメなど海藻」「餅」「ごぼう」など、《29歳以下》(順に47.7%、52.8%、42.1%)で高い割合の項目が多く、若い人の方が多くの食材に挑戦しているようです。

図 6. 滞在時に初めて食べた“日本ならではの食材”（複数回答）



国別	アメリカ <n=300>	18.7	16.7	23.7	12.0	11.7	14.7	13.3	12.3	18.7	14.3	7.7	11.0	9.7	11.3	7.7	11.0	5.0
	イギリス <n=150>	25.3	22.0	26.0	14.0	18.7	20.0	15.3	16.7	12.7	18.7	7.3	12.0	14.0	10.7	8.0	6.7	-
	フランス <n=150>	42.0	26.0	24.0	22.7	23.3	32.7	31.3	20.7	24.7	31.3	26.0	22.7	26.7	23.3	18.7	22.0	9.3
	中国 <n=300>	16.3	24.3	12.3	14.0	19.0	13.0	19.3	17.7	13.0	9.0	5.3	9.3	12.7	7.3	7.3	4.3	0.3
	韓国 <n=300>	7.3	10.7	9.7	24.7	13.7	8.7	5.0	7.0	4.7	6.3	19.7	10.7	5.0	5.7	4.3	3.0	23.0
性別	男性 <n=606>	19.3	19.6	19.3	19.1	15.7	16.5	14.2	13.5	13.9	12.9	14.2	13.2	10.4	10.7	7.6	8.1	9.4
	女性 <n=594>	18.7	18.2	16.0	15.3	17.0	14.8	16.3	14.3	13.6	14.5	10.4	10.9	13.5	9.9	8.8	8.2	7.1
年代	29歳以下 <n=195>	21.5	24.1	18.5	22.6	19.0	16.9	17.9	19.0	10.8	22.6	17.9	17.4	16.4	13.3	12.3	12.3	6.7
	30代 <n=606>	19.5	17.8	19.1	14.9	15.7	18.2	18.3	13.0	14.9	12.2	10.2	10.9	11.7	10.1	8.4	8.1	5.6
	40代 <n=276>	19.6	19.9	16.7	16.7	19.2	12.7	12.0	15.2	16.3	13.0	11.2	12.3	11.6	11.6	7.6	7.2	10.1
	50歳以上 <n=123>	11.4	13.8	11.4	22.0	8.9	8.1	3.3	7.3	7.3	8.1	16.3	8.9	6.5	4.1	1.6	4.1	19.5

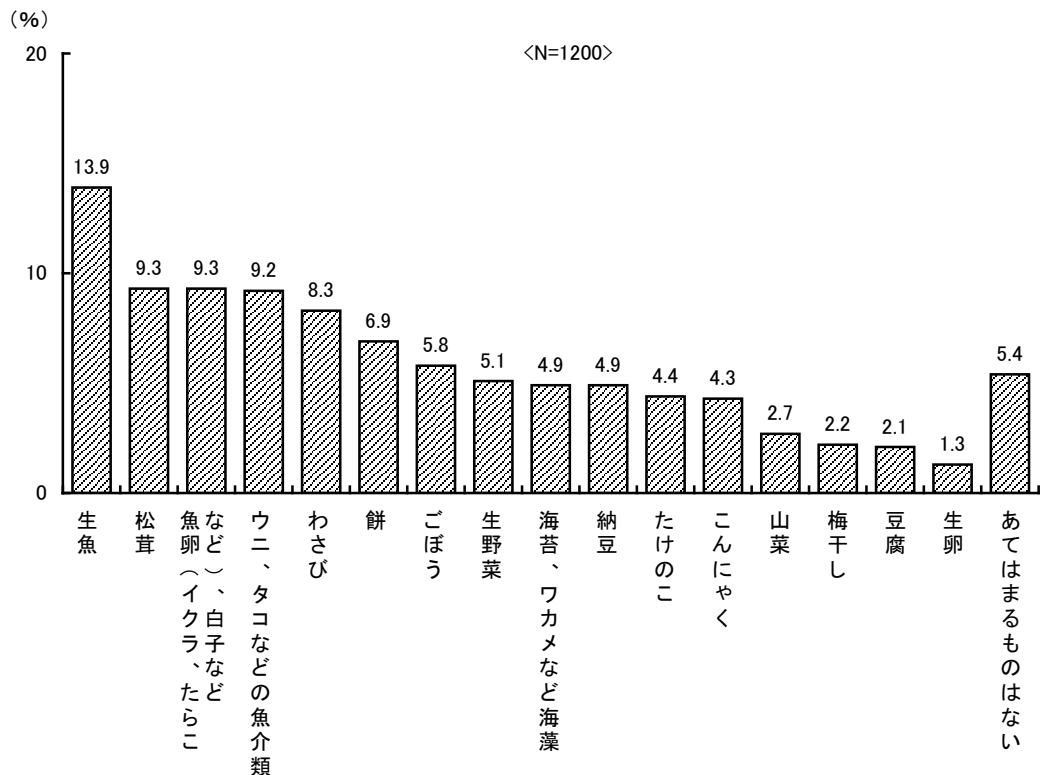
次いで、滞在時に初めて食べた“日本ならではの食材”をみると、「松茸」(19.0%)、「生魚」(18.9%)、「わさび」(17.7%)と、【滞在時に食べた“日本ならではの食材”】と同様の食材が上位にあげられている一方、「納豆」(17.3%)、「ごぼう」(15.3%)といった食材は、【滞在時に食べた“日本ならではの食材”】では下位でしたが、【滞在時に初めて食べた“日本ならではの食材”】としては上位となっています。

国別にみると、「松茸」「たけのこ」「ごぼう」など、《フランス》で高い割合となっている項目が多くなっています。《フランス》は、【滞在時に食べた“日本ならではの食材”】でも他の国に比べて高い割合であったため、初めて食べるケースも多かったと考えられます。一方、《韓国》では総じて低い割合で、「あてはまるものはない」(23.0%)の割合が高くなっています。隣国であるため、すでに自国で食べたことがある人が多いのかもしれませんが。

性別ではあまり大きな差はみられません。

年代別にみると、総じて若い人の方が高い割合を示す項目が多くなっています。若い人ほど人生の経験が少ないということかもしれません。

図 7. 最もおいしかった“日本ならではの食材”



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>													
生魚	12.0	12.7	10.7	15.3	16.7													
松茸	11.3	14.7	13.3	7.0	4.7													
魚卵 (イクラ、たらこなど、白子など)	4.0	9.3	3.3	11.3	15.7													
ウニ、タコなどの魚介類	7.0	4.7	11.3	12.0	9.7													
わさび	11.3	12.0	4.7	7.3	6.3													
餅	8.7	7.3	17.3	3.3	3.3													
ごぼう	6.3	6.7	4.7	8.0	3.0													
生野菜	9.0	4.0	4.7	5.0	2.0													
海苔、ワカメなど海藻	4.0	5.3	4.7	8.3	2.3													
納豆	2.7	1.3	2.0	6.7	8.7													
たけのこ	5.7	9.3	2.7	3.0	3.0													
こんにゃく	5.3	6.7	3.3	3.7	3.3													
山菜	3.7	0.7	3.3	2.7	2.3													
梅干し	1.0	1.3	2.7	1.3	4.3													
豆腐	2.0	3.3	2.0	1.3	2.3													
生卵	0.3	0.7	2.0	2.3	1.3													
あてはまるものはない	5.7	-	7.3	1.3	11.0													
性別	男性 <n=606>	16.0	8.6	9.6	8.4	9.1	5.9	5.3	5.1	2.8	5.9	4.5	4.8	2.5	2.6	1.5	1.3	6.1
女性 <n=594>	11.8	9.9	9.1	9.9	7.6	7.9	6.2	5.1	7.1	3.9	4.4	3.9	2.9	1.7	2.7	1.3	4.7	
年代	29歳以下 <n=195>	12.8	9.2	9.7	9.2	8.2	8.2	6.2	3.1	6.7	4.1	4.1	4.1	3.6	1.0	2.1	0.5	7.2
30代 <n=606>	11.6	10.1	9.1	7.4	9.2	6.9	7.9	6.4	4.8	4.8	5.9	4.3	2.6	2.3	1.8	1.8	3.0	
40代 <n=276>	18.1	8.0	7.6	11.2	8.0	7.2	2.2	4.3	5.1	4.0	2.5	6.2	2.9	2.2	2.2	1.4	6.9	
50歳以上 <n=123>	17.9	8.1	13.8	13.0	4.9	4.1	2.4	3.3	2.4	8.9	1.6	0.8	0.8	3.3	3.3	-	11.4	

最後に、最もおいしかった“日本ならではの食材”は、最も多い「生魚」(13.9%)でも1割程度とあまり高くなく、以下「松茸」(9.3%)、「魚卵(イクラ、たらこなど)、白子など」(9.3%)、「ウニ、タコなどの魚介類」(9.2%)、「わさび」(8.3%)、「餅」(6.9%)、「ごぼう」(5.8%)、「生野菜」(5.1%)などの順で、好みの分かれる結果となっています。

国別にみると、あまり大きな差はありませんが、各国でトップになっているのは、《アメリカ》《中国》《韓国》では「生魚」(順に12.0%、15.3%、16.7%)、《イギリス》では「松茸」(14.7%)、《フランス》では「餅」(17.3%)となっています。また、《韓国》では「あてはまるものはない」(11.0%)が1割を超えています。

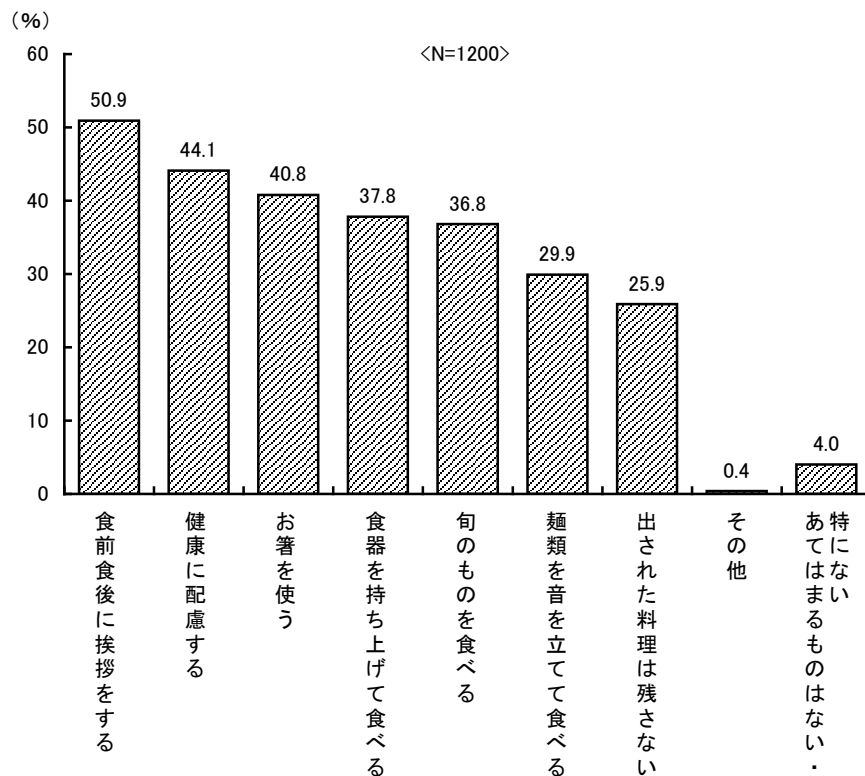
性別や年代別では、あまり差はありません。

#### 4. 日本の食事（食事マナー）で印象に残っているもの

「食前食後に挨拶をする」(50.9%)をはじめ、「健康に配慮する」(44.1%)、「お箸を使う」(40.8%)、「食器を持ち上げて食べる」(37.8%)、「匂いのものを食べる」(36.8%)など、さまざまなことが印象に残っている。

●《アメリカ》《イギリス》で高い割合の項目が多い。《韓国》では「食器を持ち上げて食べる」(47.3%)が他の国と比べて多い。

図 8. 日本の食事（食事マナー）で印象に残っているもの（複数回答）



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	
	アメリカ <n=300>	52.0	52.3	62.7	34.7	44.3
イギリス <n=150>	65.3	56.0	60.7	37.3	48.7	
フランス <n=150>	68.7	43.3	44.7	29.3	26.7	
中国 <n=300>	44.3	48.0	29.7	36.0	48.3	
韓国 <n=300>	40.3	26.3	18.0	47.3	16.7	
性別	男性 <n=606>	50.7	45.2	41.4	37.6	36.8
	女性 <n=594>	51.2	42.9	40.1	38.0	36.7
年代	29歳以下 <n=195>	52.3	42.6	51.3	42.6	33.8
	30代 <n=606>	54.5	44.2	42.9	35.1	41.4
	40代 <n=276>	46.4	46.7	32.2	41.7	35.5
	50歳以上 <n=123>	41.5	39.8	32.5	35.0	21.1

「食前食後に挨拶をする」(50.9%)を半数以上の人があげて最も多くなっていますが、以下「健康に配慮する」(44.1%)、「お箸を使う」(40.8%)、「食器を持ち上げて食べる」(37.8%)、「匂いのものを食べる」(36.8%)、「麺類を音を立てて食べる」(29.9%)、「出された料理は残さない」(25.9%)など、さまざまなことが印象に残っているようです。

国別にみると、「健康に配慮する」「お箸を使う」「匂いのものを食べる」など、《アメリカ》《イギリス》で高い割合の項目が多くなっています。日本と食文化が大きく違うことが要因になっていると考えられます。《中国》《韓国》

では総じて低い割合ですが、《中国》では「旬のものを食べる」(48.3%)が《アメリカ》《イギリス》(順に44.3%、48.7%)並みに高く、また《韓国》では「食器を持ち上げて食べる」(47.3%)が他の国に比べて高くなっています。

性別であまり大きな差はありません。

年代別にみると、どちらかと言えば若い人ほど高い割合となっている項目が多くみられます。こちらも人生経験の多さが関係しているのかもしれませんが。

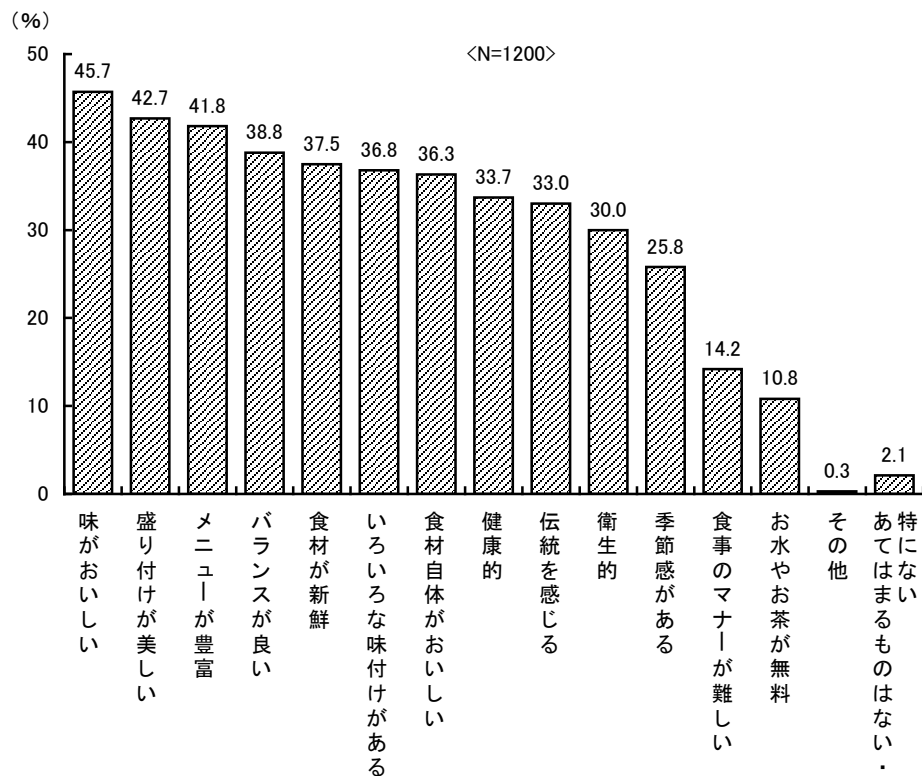


## 5. 日本の食について、驚いたこと・感心したこと

「味がおいしい」(45.7%)、「盛り付けが美しい」(42.7%)、「メニューが豊富」(41.8%)、「バランスが良い」(38.8%)、「食材が新鮮」(37.5%)、「いろいろな味付けがある」(36.8%)、「食材自体がおいしい」(36.3%)など、さまざまなことに驚き、感心している。

●総じて《アメリカ》《イギリス》《フランス》では高く、《中国》《韓国》では低い割合の項目が多い。

図 9. 日本の食について、驚いたこと・感心したこと（複数回答）



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>
	味がおいしい	54.7	49.3	54.7	42.0
盛り付けが美しい	53.3	42.7	30.7	30.3	50.3
メニューが豊富	38.0	52.0	57.3	45.3	29.3
バランスが良い	46.7	48.7	36.7	38.7	27.0
食材が新鮮	46.7	49.3	37.3	28.0	32.0
いろいろな味付けがある	38.0	40.0	36.0	38.3	33.0
食材自体がおいしい	42.0	49.3	30.0	41.0	22.7
健康的	45.3	40.0	42.7	29.0	19.0
伝統を感じる	34.0	32.7	46.7	23.3	35.0
衛生的	26.7	37.3	31.3	28.0	31.0
季節感がある	30.0	32.7	27.3	29.0	14.3
食事のマナーが難しい	12.7	16.0	16.0	20.0	8.0
お水やお茶が無料	13.7	18.0	19.3	5.7	5.3
その他	0.3	-	1.3	-	0.3
あてはまるものはない・特にはない	0.7	-	-	-	7.7
性別	男性 <n=606>	女性 <n=594>			
	味がおいしい	47.0	44.3		
盛り付けが美しい	43.4	41.9			
メニューが豊富	43.7	39.9			
バランスが良い	38.4	39.1			
食材が新鮮	36.0	39.1			
いろいろな味付けがある	36.5	37.2			
食材自体がおいしい	34.0	38.7			
健康的	36.5	30.8			
伝統を感じる	33.3	32.7			
衛生的	30.7	29.3			
季節感がある	27.6	24.1			
食事のマナーが難しい	14.4	14.0			
お水やお茶が無料	11.4	10.3			
その他	0.5	0.2			
あてはまるものはない・特にはない	2.5	1.7			
年代	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>	
	味がおいしい	48.2	46.4	45.7	38.2
	盛り付けが美しい	39.5	40.1	45.3	54.5
	メニューが豊富	44.1	45.7	39.1	25.2
バランスが良い	45.1	39.6	34.4	34.1	
食材が新鮮	41.0	35.3	39.1	39.0	
いろいろな味付けがある	35.9	41.3	29.0	34.1	
食材自体がおいしい	36.4	40.8	33.0	22.0	
健康的	34.9	34.8	31.9	30.1	
伝統を感じる	30.3	31.0	35.1	42.3	
衛生的	30.3	28.9	28.6	38.2	
季節感がある	26.7	27.2	24.6	20.3	
食事のマナーが難しい	16.4	15.0	15.2	4.1	
お水やお茶が無料	15.4	10.6	9.1	8.9	
その他	0.5	0.3	0.4	-	
あてはまるものはない・特にはない	0.5	0.3	3.6	9.8	

「味がおいしい」(45.7%)をはじめ、「盛り付けが美しい」(42.7%)、「メニューが豊富」(41.8%)、「バランスが良い」(38.8%)、「食材が新鮮」(37.5%)、「いろいろな味付けがある」(36.8%)、「食材自体がおいしい」(36.3%)など、さまざまなことに驚き、感心しています。

国別にみると、《アメリカ》《イギリス》《フランス》では似たような傾向を示しており、総じて高い割合を示しています。《中国》《韓国》では総じて低い項目が多いですが、《中国》では「メニューが豊富」(45.3%)や「食材自体がおいしい」(41.0%)、《韓国》では「盛り付けが美しい」(50.3%)でポイントが高くなっています。

性別にみると、5ポイント以上差のある項目は「健康的」（男性 36.5%、女性 30.8%）しかなく、全般に大きな差は生じていません。

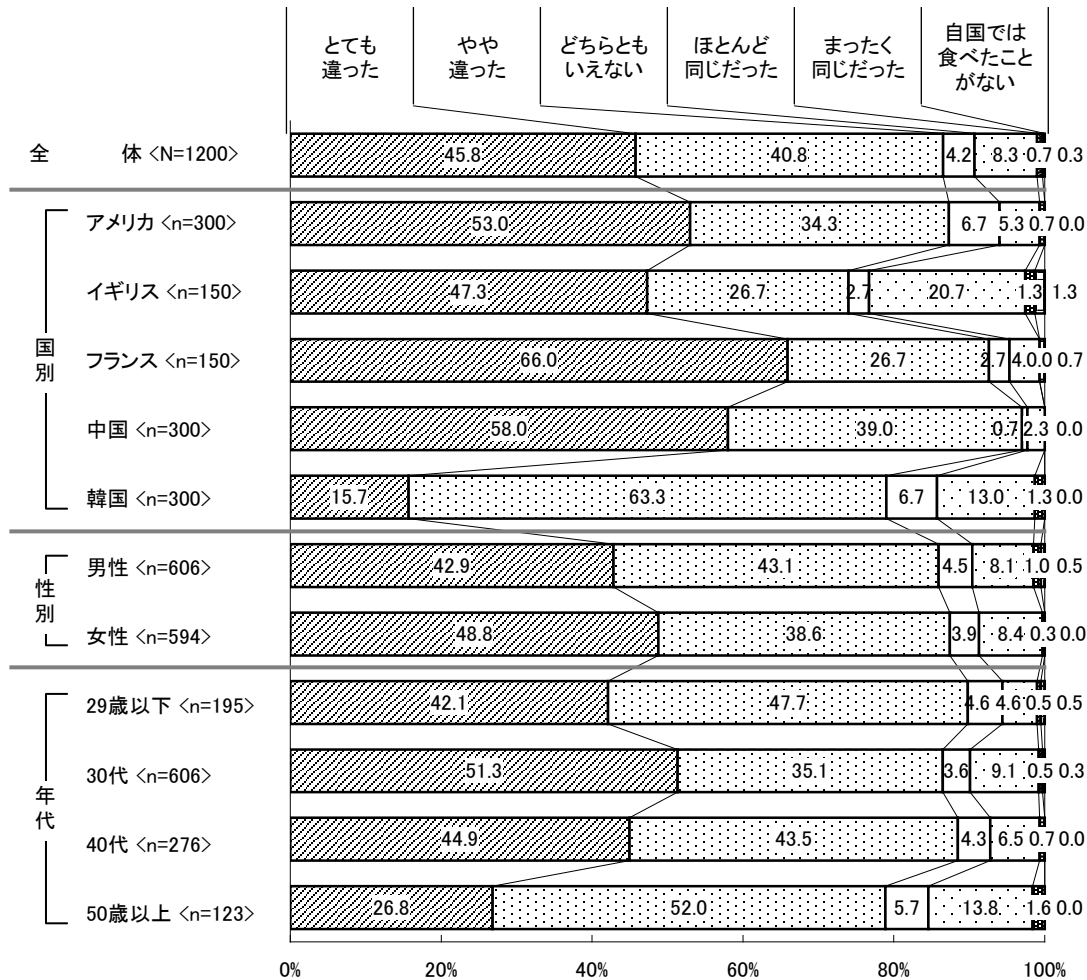
年代別にみると、どちらかと言えば若い人ほど高い割合の項目が多くみられますが、「盛り付けが美しい」や「伝統を感じる」は逆に年代が上がるほど高率を示しています。

## 6. 自国の日本食と、日本で食べた日本食は違ったか

「とても違った」(45.8%)、「やや違った」(40.8%)を合わせた“違った”(86.7%)という回答が大半。

●“違った”の割合は《中国》(97.0%)、《フランス》(92.7%)で高く、《イギリス》(74.0%)、《韓国》(79.0%)は比較的低い。

図 10. 自国の日本食と、日本で食べた日本食は違ったか



「とても違った」(45.8%)、「やや違った」(40.8%)がともに4割台で、合わせて“違った”(86.7%)という割合が8割台に達しています。「ほとんど同じだった」(8.3%)、「まったく同じだった」(0.7%)を合わせた“同じだった”(8.9%)は1割未満にすぎません。

国別にみると、“違った(とても+やや)”の割合は、《中国》(97.0%)、《フランス》(92.7%)で9割台と特になくなっていきます。一方、《イギリス》(74.0%)、《韓国》(79.0%)では7割台と比較的低めで、特に《韓国》では「とても違った」(15.7%)の割合が極めて低いのが目立ちます。

性別にみると、《男性》よりも《女性》の方が、違いを感じた割合はやや高めです。

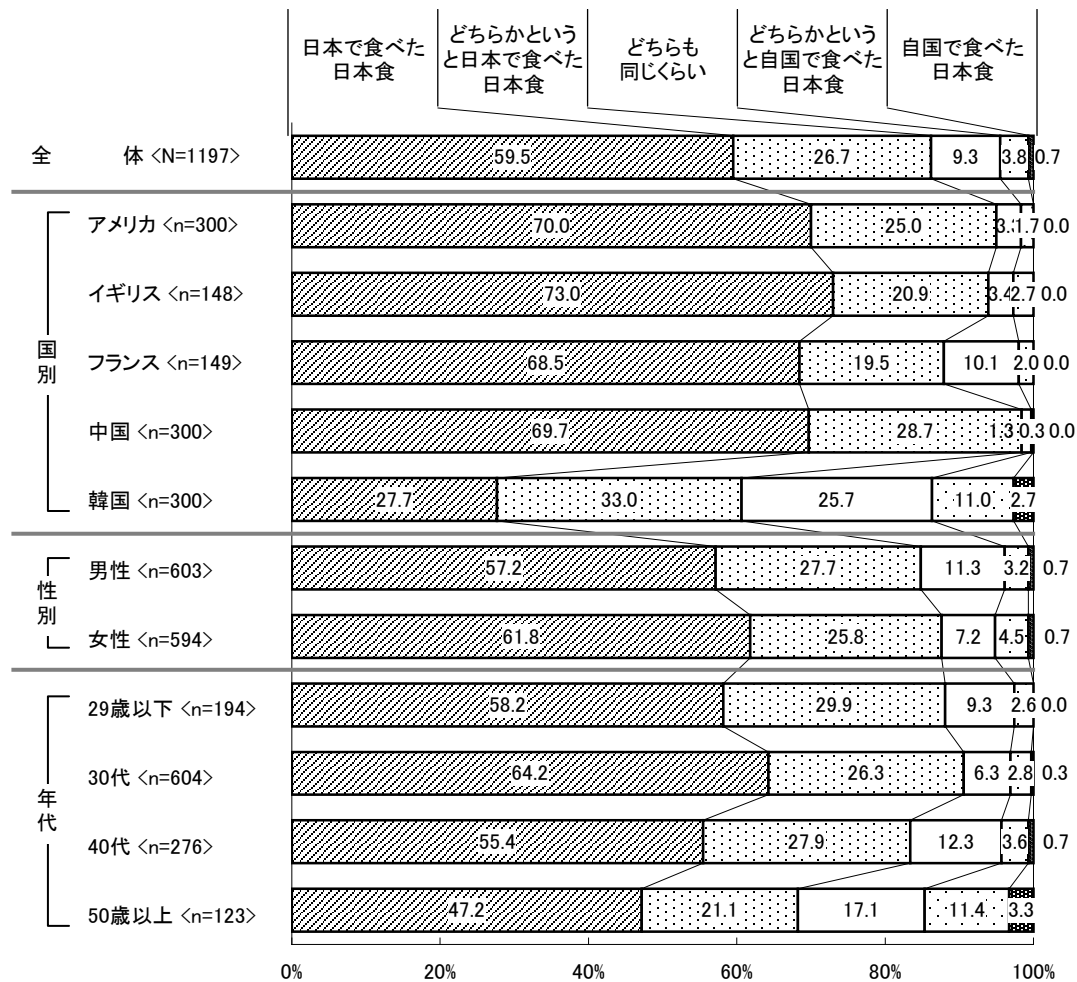
年代別にみると、“違った”の割合は《29歳以下》(89.7%)、《30代》(86.5%)、《40代》(88.4%)の8割台に比べ、《50歳以上》(78.9%)では7割台と比較的低くなっています。

## 7. 自国の日本食と日本で食べた日本食のどちらがおいしいと思ったか

「日本で食べた日本食」(59.5%)、「どちらかという和日本で食べた日本食」(26.7%)を合わせた“日本”(86.2%)が大半を占める。

●“日本”とする割合は《中国》(98.3%)、《アメリカ》(95.0%)、《イギリス》(93.9%)では9割台、《フランス》(87.9%)も8割台だが、《韓国》(60.7%)は6割程度と比較的低い。

図 11. 自国の日本食と日本で食べた日本食のどちらがおいしいと思ったか



自国の日本食と日本で食べた日本食のどちらがおいしいと思ったでしょうか。

「日本で食べた日本食」(59.5%)が半数を超えており、「どちらかという和日本で食べた日本食」(26.7%)を合わせると、“日本”(86.2%)が8割台を占めています。そのほかの回答も「どちらも同じくらい」(9.3%)が多く、「どちらかという和自国で食べた日本食」(3.8%)、「自国で食べた日本食」(0.7%)を合わせた“自国”(4.5%)という回答はわずかです。

国別にみると、“日本”とする割合は《中国》(98.3%)、《アメリカ》(95.0%)、《イギリス》(93.9%)では9割台、《フランス》(87.9%)も8割台ですが、《韓国》(60.7%)だけは6割程度と比較的低めです。また、「日本で食べた日本食」の割合も《韓国》(27.7%)は2割台で、他の国の7割前後と比べて大幅に少なくなっています。

性別にみると、“日本”とする割合は男女とも8割台を占めています。《女性》の方がやや高めです。

年代別にみると、若い人ほど“日本”とする割合は高い傾向があり、《50 歳以上》(68.3%)では6割台ですが、最も高い《30代》(90.6%)では9割に達しています。

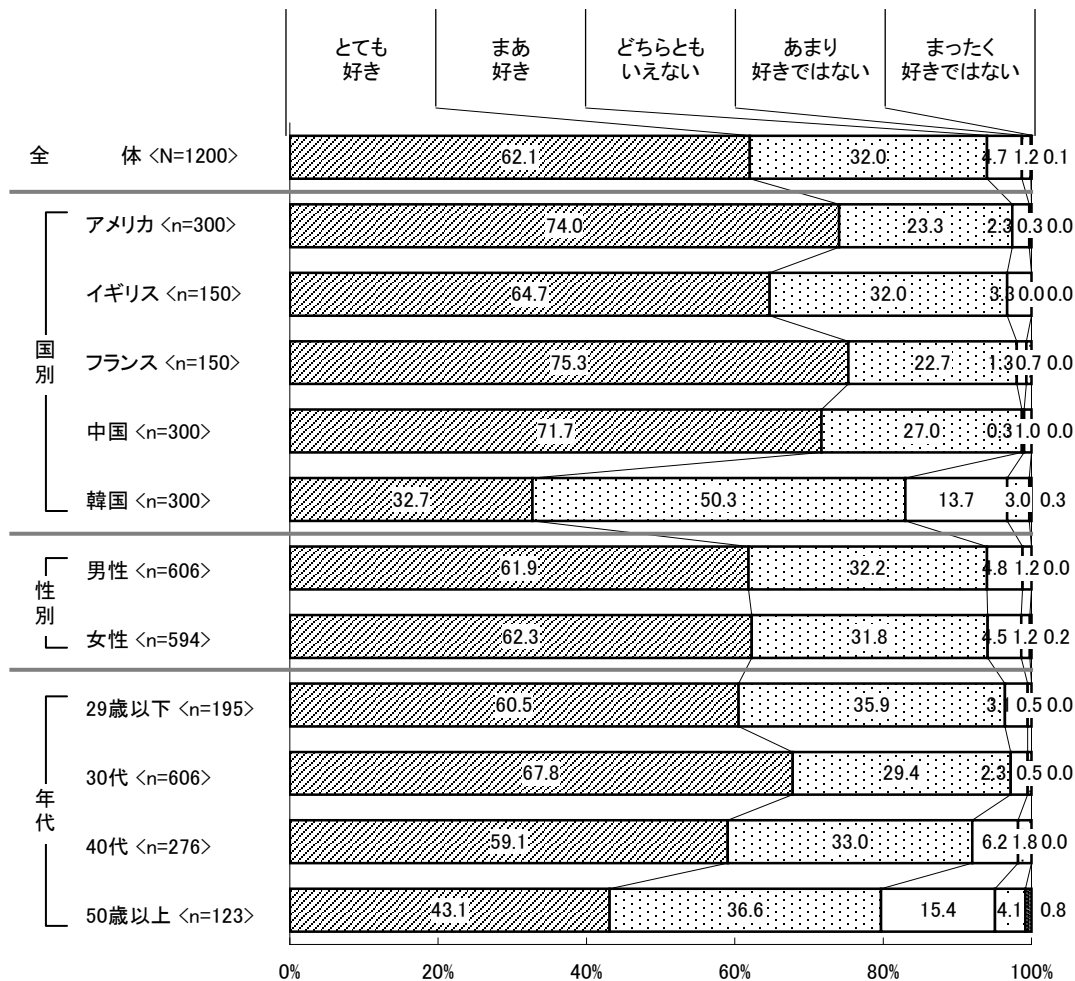
## 8. 日本食は好きか

「とても好き」(62.1%)、「まあ好き」(32.0%)を合わせた“好き”(94.1%)の割合は9割を超える。

●“好き”の割合はほとんどの国で9割台を占めるが、《韓国》(83.0%)だけは8割台と比較的低め。

◆日本食が好きな理由は、「味が好みだから」(61.6%)が最も多く、以下「食材が新鮮だから」(49.2%)、「健康によいから」(25.8%)、「見た目が良いから」(18.7%)、「安全だから」(14.9%)など。

図 12. 日本食は好きか



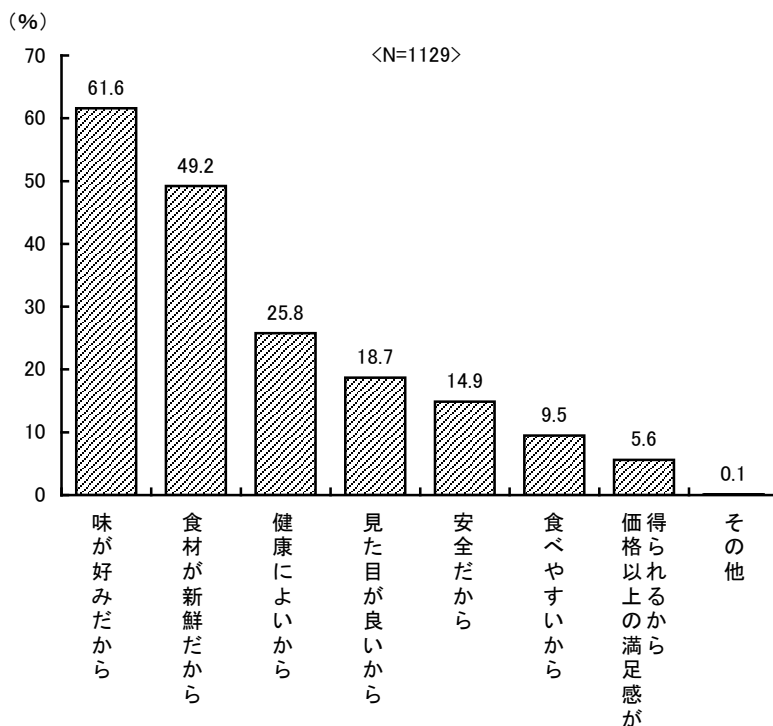
日本食は好きかどうかをみると、「とても好き」が6割強(62.1%)、「まあ好き」が3割強(32.0%)を占め、合わせて“好き(とても+まあ)”(94.1%)の割合は9割を超えています。

国別にみると、ほとんどの国で“好き”の割合は100%近くを占めていますが、《韓国》(83.0%)だけは8割程度と比較的低めです。特に「とても好き」の割合は、《韓国》(32.7%)では3割程度で、他の国の6~7割台と比べて大きな差があります。

性別ではほとんど差はありません。

年代別にみると、《30代》をピークとして若い人の“好き”の割合は高くなっています。《50歳以上》では“好き”は8割弱(79.7%)で、下の年代の9割台に比べて低めです。

図 13. 日本食が好きな理由（複数回答）



属性	サンプル数	味が好みだから	食材が新鮮だから	健康によいから	見た目が良いから	安全だから	食べやすいから	価格以上の満足感が得られるから	その他
国別	アメリカ <n=292>	62.3	46.2	33.6	20.2	17.8	6.2	3.1	0.3
	イギリス <n=145>	63.4	58.6	28.3	17.9	15.2	6.2	2.8	-
	フランス <n=147>	75.5	46.3	31.3	13.6	8.8	7.5	6.1	-
	中国 <n=296>	50.3	58.8	22.6	15.9	22.3	10.1	2.0	-
	韓国 <n=249>	65.1	37.3	15.7	23.7	6.0	15.7	14.1	-
性別	男性 <n=570>	65.6	46.8	26.5	18.1	14.0	9.3	6.5	-
	女性 <n=559>	57.6	51.5	25.0	19.3	15.7	9.7	4.7	0.2
年代	29歳以下 <n=188>	62.8	47.3	24.5	24.5	16.0	7.4	8.5	0.5
	30代 <n=589>	63.2	52.5	25.8	16.0	15.8	8.0	3.2	-
	40代 <n=254>	59.1	44.1	26.8	18.5	15.0	13.0	6.3	-
	50歳以上 <n=98>	57.1	45.9	25.5	24.5	7.1	13.3	12.2	-

日本食が「とても好き」「まあ好き」と回答した人に、日本食が好きな理由を聞いた結果をみると、「味が好みだから」が6割強（61.6%）で最も多く、以下「食材が新鮮だから」（49.2%）、「健康によいから」（25.8%）、「見た目が良いから」（18.7%）、「安全だから」（14.9%）など、さまざまな理由があげられています。

国別にみると、「味が好みだから」が最も多い国が多い中、《中国》では「食材が新鮮だから」（58.8%）が1位となっています。「味が好みだから」は特に《フランス》（75.5%）で高く、《中国》（50.3%）で低めです。また、《韓国》では「味が好みだから」を除くと総じて低い割合の項目が多くなっています。

性別にみると、男女とも「味が好みだから」が最も多くなっていますが、《男性》（65.6%）の方が《女性》（57.6%）よりもやや高い割合です。

年代別ではあまり大きな差はみられません。

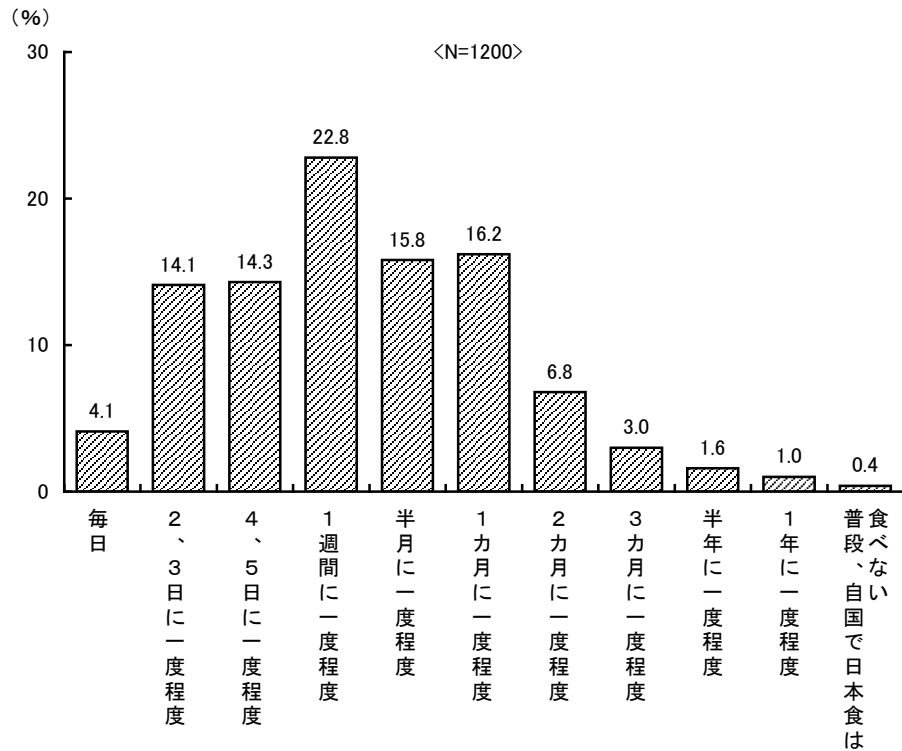
なお、【日本食が好きではない理由】は、サンプル数が15名と少ないのですが、「安全でないから」（6件）、「味が好みでないから」（5件）、「価格以上の満足感が得られないから」（5件）、「食材が新鮮でないから」（2件）、「健康に悪いから」（2件）、「食べにくいから」（2件）などの順となっています。

## 9. 普段、自国で日本食をどのくらいの頻度で食べるか

「1週間に一度程度」が2割強(22.8%)で最も多いが、以下「1か月に一度程度」(16.2%)、「半月に一度程度」(15.8%)、「4、5日に一度程度」(14.3%)、「2、3日に一度程度」(14.1%)など、人によるバラつきが多い。

●《イギリス》では「毎日」(15.3%)の割合が高いのが目を引く。

図 14. 普段、自国で日本食をどのくらいの頻度で食べるか



国別	アメリカ <n=300>	3.0	22.0	16.3	22.3	13.0	13.3	6.0	3.3	0.3	0.3	-
	イギリス <n=150>	15.3	9.3	13.3	21.3	15.3	13.3	7.3	2.0	1.3	0.7	0.7
	フランス <n=150>	3.3	5.3	14.7	31.3	18.7	19.3	5.3	1.3	-	0.7	-
	中国 <n=300>	4.0	22.3	15.3	20.0	15.7	11.7	7.3	2.3	1.3	-	-
	韓国 <n=300>	-	4.7	11.7	22.3	17.3	23.3	7.7	4.7	4.0	3.0	1.3
性別	男性 <n=606>	3.8	12.9	13.7	25.9	16.8	16.0	5.4	2.1	1.3	1.5	0.5
	女性 <n=594>	4.4	15.3	15.0	19.5	14.6	16.3	8.2	3.9	1.9	0.5	0.3
年代	29歳以下 <n=195>	6.2	14.4	19.5	20.5	15.4	14.4	7.7	1.5	-	0.5	-
	30代 <n=606>	5.6	16.7	13.9	23.8	16.8	14.2	5.4	2.8	0.5	0.3	-
	40代 <n=276>	0.4	12.3	16.3	23.2	11.6	18.5	9.1	4.0	2.9	0.7	1.1
	50歳以上 <n=123>	1.6	4.9	4.1	20.3	20.3	23.6	7.3	4.1	6.5	5.7	1.6

「1週間に一度程度」が2割強(22.8%)で最も多くなっていますが、以下「1か月に一度程度」(16.2%)、「半月に一度程度」(15.8%)、「4、5日に一度程度」(14.3%)、「2、3日に一度程度」(14.1%)など、人によるバラつきが多い結果となっています。

国別にみると、《韓国》における頻度が総じて低くなっています。一方、《イギリス》では「毎日」(15.3%)の割合が高いのが目立ちます。

性別では、《男性》の方が若干頻度は高い傾向がみられます。

年代別にみると、若い人で頻度が高くなる傾向がみられます。



10. 自国で知られている日本の料理、自国で最も人気がある日本の料理、自国で最も食べたいと思う日本の料理

自国で知られている日本の料理は、「寿司」(56.3%)が最も多く、以下「ラーメン」(48.5%)、「うどん・そば」(43.7%)、「刺身」(42.1%)、「天ぷら」(39.8%)、「どんぶりもの(かつ丼、海鮮丼、親子丼、牛丼など)」(39.1%)、「味噌汁」(38.2%)、「カレーライス」(37.9%)など、多くの料理があげられる。

●「寿司」が最も多くなっている国がほとんどで、特に《フランス》(74.7%)、《韓国》(78.0%)で多いが、《中国》(31.7%)ではかなり低めで、総じて《中国》では他の国に比べて低い。

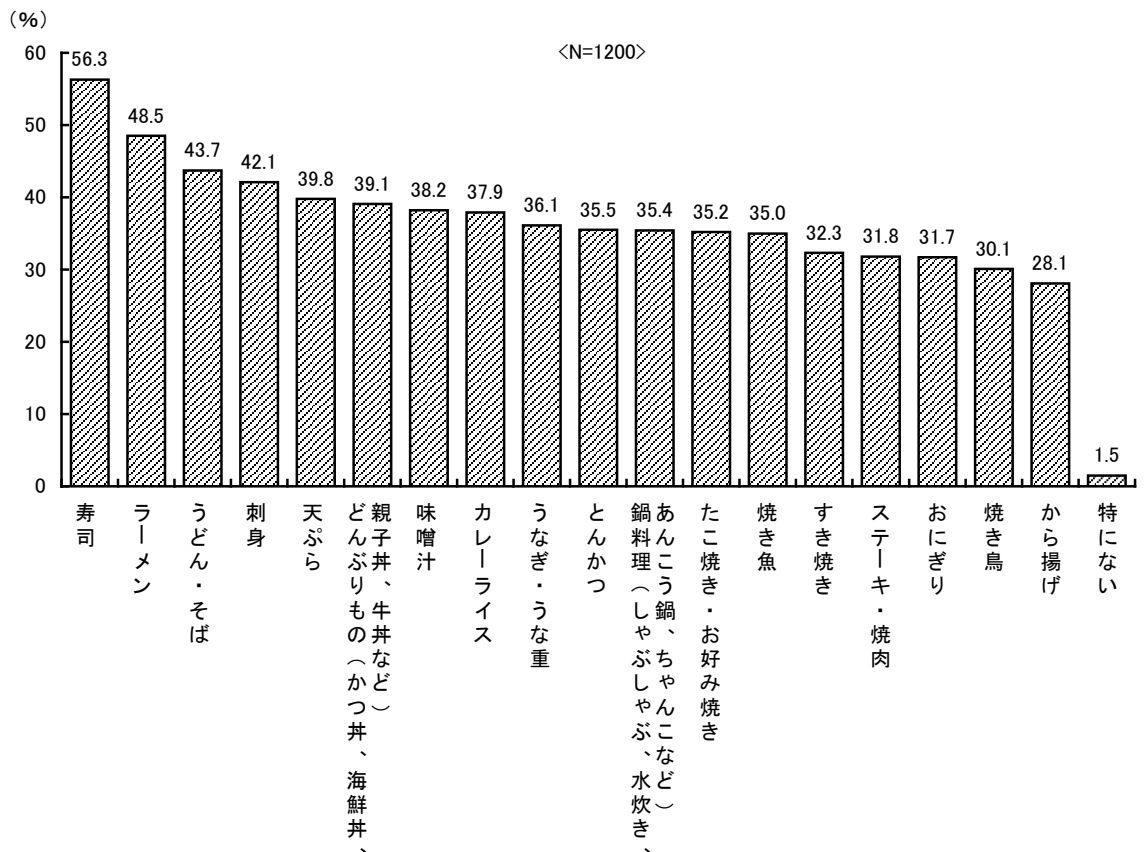
自国で最も人気がある日本の料理は、「寿司」(26.0%)が抜きん出て高く、以下「刺身」(7.5%)、「ラーメン」(7.1%)、「うどん・そば」(5.7%)、「うなぎ・うな重」(5.6%)、「とんかつ」(5.4%)などの順。

●「寿司」の割合が最も高い国が多く、特に《フランス》(43.3%)、《韓国》(39.0%)で高い。一方、《中国》(9.7%)では1割未満と低い。

自国で最も食べたいと思う日本の料理は、「寿司」(16.8%)がやはり最も多いが、以下「刺身」(8.0%)、「ラーメン」(6.8%)、「うなぎ・うな重」(6.7%)、「うどん・そば」(5.7%)、「天ぷら」(5.5%)などさまざまで、回答が分かれる。

●「寿司」をあげる割合は《フランス》(24.7%)、《韓国》(28.7%)で特に高く、《イギリス》(6.7%)、《中国》(6.7%)では低い。

図 15. 自国で知られている日本の料理（複数回答）



属性	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>								
国別	52.0	49.7	32.7	34.0	37.0	30.7	37.3	38.0	25.0	27.3	30.0	26.7	34.7	24.0	34.0	27.7	27.7	29.7	3.3
性別	52.7	41.3	33.3	38.0	39.3	31.3	35.3	31.3	35.3	34.0	34.7	33.3	42.0	34.7	28.7	36.0	30.7	25.3	-
年代	74.7	56.0	50.7	54.0	50.0	42.7	52.7	56.0	26.7	19.3	28.7	24.0	41.3	24.7	32.7	30.0	45.3	24.0	5.3
	31.7	25.3	27.3	37.7	29.7	26.0	25.7	25.7	34.7	21.7	28.0	27.7	29.0	32.7	29.7	29.7	19.3	22.3	-
	78.0	70.3	72.7	50.7	47.7	62.7	45.7	44.3	53.7	66.3	52.0	57.7	34.7	43.0	33.0	36.3	35.3	35.7	-
	60.6	50.8	45.9	40.8	43.9	41.1	39.1	39.4	36.0	37.8	37.5	35.8	37.0	31.4	34.8	28.7	32.3	28.5	2.3
	52.0	46.1	41.4	43.4	35.5	37.0	37.2	36.4	36.2	33.2	33.3	34.5	33.0	33.3	28.8	34.7	27.8	27.6	0.7
	55.4	51.8	43.6	40.0	40.5	39.0	42.6	41.5	34.9	32.3	40.0	39.5	32.8	33.3	33.3	34.4	30.8	30.8	3.1
	48.2	43.2	37.6	39.6	36.3	33.8	34.8	35.3	35.5	30.4	31.4	32.2	33.2	32.0	33.2	29.7	30.9	26.9	1.2
	62.3	51.1	46.4	44.6	38.4	44.2	39.9	36.2	37.3	40.9	35.9	34.1	37.7	27.2	27.9	35.1	28.6	29.0	1.8
	84.6	63.4	67.5	52.0	58.5	53.7	43.9	48.8	38.2	53.7	47.2	45.5	41.5	43.9	31.7	29.3	28.5	27.6	-

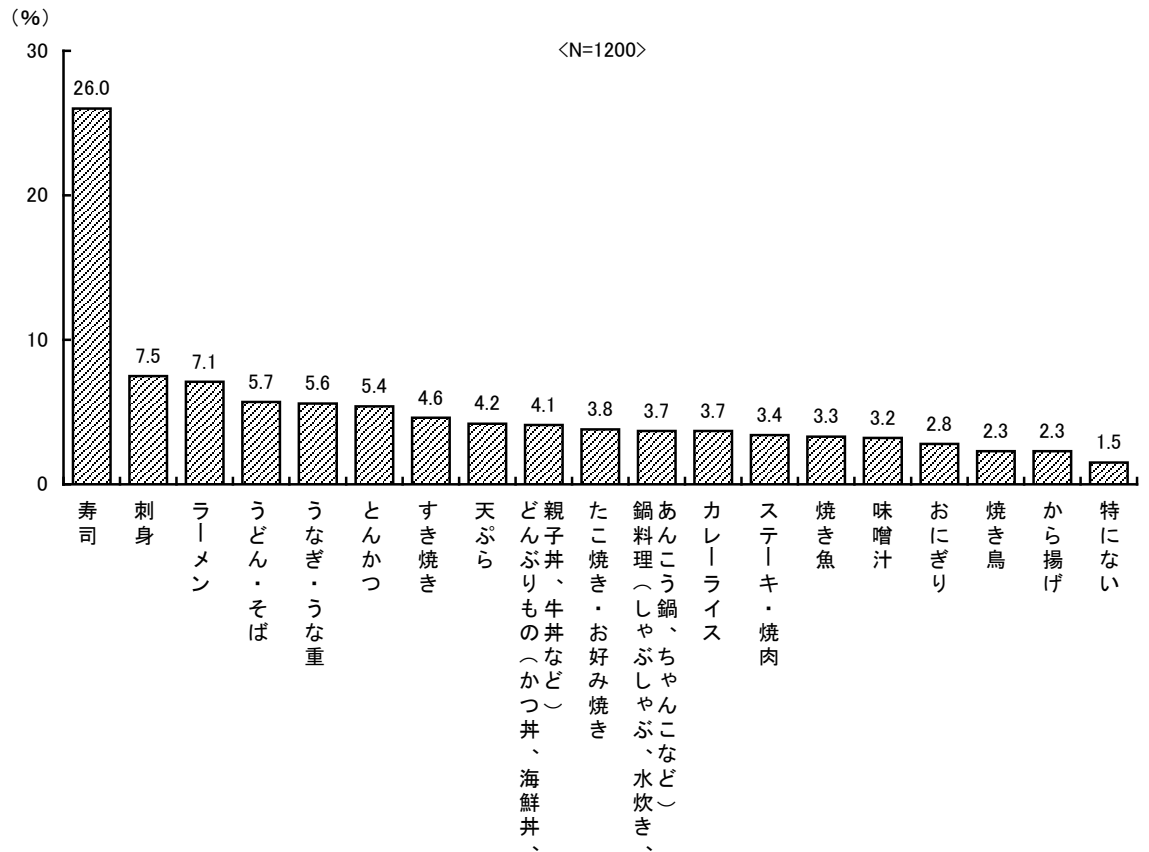
まず、自国で知られている日本の料理をみると、「寿司」(56.3%)が半数を超えて最も多く、以下「ラーメン」(48.5%)、「うどん・そば」(43.7%)、「刺身」(42.1%)、「天ぷら」(39.8%)、「どんぶりもの(かつ丼、海鮮丼、親子丼、牛丼など)」(39.1%)、「味噌汁」(38.2%)、「カレーライス」(37.9%)など、多くの料理があげられています。

国別にみると、「寿司」が最も多くなっている国がほとんどで、特に《フランス》(74.7%)、《韓国》(78.0%)で多くなっています。一方、《中国》(31.7%)ではかなり低めで、総じて《中国》では他の国に比べて低い割合の項目が多くなっています。《韓国》は日本の隣国であるせいか、高い割合の項目がほとんどとなっています。

性別にみると、「寿司」(男性 60.6%、女性 52.0%)、「天ぷら」(同 43.9%、35.5%)など、《男性》の方が高い割合の項目が多くなっています。

年代別にみると、ほとんどの項目で、《50歳以上》で最も割合が高くなっています。

図 16. 自国で最も人気がある日本の料理



国別	アメリカ <n=300>	24.3	3.7	10.0	6.3	4.3	5.7	4.0	5.3	3.3	4.0	4.3	3.0	4.0	1.7	4.3	3.3	2.7	2.3	3.3
	イギリス <n=150>	18.7	11.3	8.0	2.7	8.7	2.0	6.0	4.0	4.0	5.3	1.3	3.3	2.0	6.0	3.3	3.3	5.3	4.7	-
	フランス <n=150>	43.3	5.3	5.3	4.7	2.7	-	2.7	3.3	2.0	1.3	2.7	7.3	2.7	2.0	2.7	3.3	2.0	1.3	5.3
	中国 <n=300>	9.7	12.7	3.0	4.3	9.3	5.3	7.3	6.3	5.7	5.0	3.0	5.3	6.0	6.0	3.0	3.0	1.7	3.3	-
	韓国 <n=300>	39.0	5.3	8.7	8.3	3.0	9.7	2.7	1.3	4.3	3.0	5.3	1.0	1.3	1.7	2.3	1.3	1.0	0.7	-
性別	男性 <n=606>	27.2	6.6	7.4	6.4	4.6	5.1	4.1	4.3	4.6	3.5	4.3	3.6	3.3	3.8	3.0	2.1	2.0	1.7	2.3
	女性 <n=594>	24.7	8.4	6.7	4.9	6.6	5.7	5.1	4.0	3.5	4.2	3.0	3.7	3.5	2.9	3.4	3.4	2.5	3.0	0.7
年代	29歳以下 <n=195>	27.7	5.6	9.7	5.1	4.6	3.6	5.6	3.6	3.1	2.1	5.6	3.1	4.1	-	4.1	3.1	2.6	3.6	3.1
	30代 <n=606>	21.3	8.6	5.6	5.0	6.8	4.5	5.1	5.1	4.0	4.8	3.1	4.5	4.0	5.1	3.8	2.6	2.8	2.3	1.2
	40代 <n=276>	27.2	7.6	7.6	6.5	4.7	8.7	2.9	2.9	5.1	4.0	4.3	2.9	2.5	2.5	1.8	3.6	1.4	1.8	1.8
	50歳以上 <n=123>	43.9	4.9	8.9	8.1	3.3	5.7	4.1	3.3	4.1	1.6	1.6	2.4	1.6	1.6	1.6	0.8	0.8	1.6	-

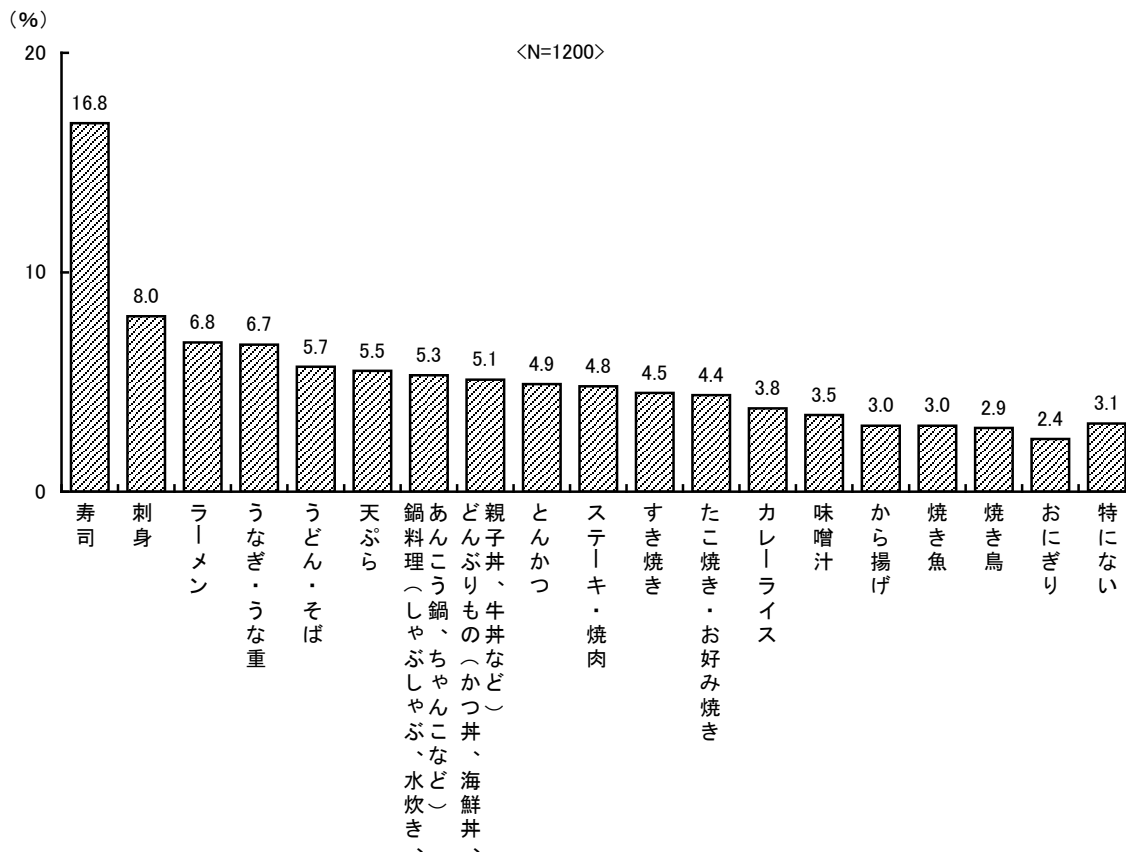
次いで、自国で最も人気がある日本の料理は、「寿司」(26.0%)が抜きん出て高い割合となっています。そのほかの項目はいずれも1割以下ですが、「刺身」(7.5%)、「ラーメン」(7.1%)、「うどん・そば」(5.7%)、「うなぎ・うな重」(5.6%)、「とんかつ」(5.4%)などの順となっています。

国別にみると、「寿司」が最も多い国が多くなっており、特に《フランス》(43.3%)、《韓国》(39.0%)では4割前後に達しています。一方、《中国》(9.7%)では1割未満と低く、「刺身」(12.7%)の方が多くなっています。

性別ではあまり大きな差はありません。

年代別にみると、《50歳以上》で「寿司」(43.9%)が4割台に達しているのが目立ちます。

図 17. 自国で最も食べたいと思う日本の料理



属性	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>
寿司	16.0	6.7	24.7	6.7	28.7	18.5	15.0	13.8	13.4	20.3	30.1
刺身	5.7	8.0	3.3	14.7	6.0	6.4	9.6	3.6	9.2	9.4	5.7
ラーメン	7.3	5.3	8.7	3.3	9.3	8.1	5.4	8.7	5.9	7.2	6.5
うなぎ・うな重	6.0	7.3	4.0	8.0	7.0	5.9	7.4	4.6	7.1	6.9	7.3
うどん・そば	5.7	2.7	4.7	6.3	7.0	6.1	5.2	4.6	4.8	7.6	7.3
天ぷら	7.0	4.0	8.0	6.3	2.7	5.3	5.7	4.6	5.9	5.1	5.7
鍋料理 (しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)	7.7	4.7	3.3	3.7	5.7	5.4	5.1	8.2	4.1	5.8	4.9
どんぶりもの (かつ丼、海鮮丼、親子丼、牛丼など)	3.0	8.0	2.0	6.3	6.0	5.3	4.9	8.2	4.1	5.8	3.3
とんかつ	5.0	3.3	2.7	5.7	6.0	4.3	5.6	5.1	4.6	5.8	4.1
ステーキ・焼肉	3.7	4.0	3.3	7.7	4.3	5.3	4.4	7.2	5.0	3.3	4.1
すき焼き	2.3	6.0	3.3	7.3	3.7	3.8	5.2	5.1	5.3	2.9	3.3
たこ焼き・お好み焼き	4.3	8.0	2.0	3.7	4.7	4.0	4.9	5.1	4.5	4.0	4.1
カレーライス	5.7	4.0	5.3	4.7	-	4.0	3.5	4.1	5.0	2.2	0.8
味噌汁	4.7	5.3	2.7	3.7	1.7	3.0	4.0	3.1	4.6	2.2	1.6
から揚げ	4.0	6.7	2.0	3.0	0.7	2.5	3.5	3.1	3.3	2.9	1.6
焼き魚	1.3	4.0	3.3	5.3	1.7	2.6	3.4	1.5	4.1	2.2	1.6
焼き鳥	2.0	6.7	7.3	1.7	1.0	3.1	2.7	3.6	3.1	2.2	2.4
おにぎり	4.0	5.3	1.3	2.0	0.3	2.3	2.5	2.1	3.3	1.4	0.8
特にない	4.7	-	8.0	-	3.7	4.1	2.0	3.6	2.6	2.9	4.9

最後に、自国で最も食べたいと思う日本の料理は、「寿司」(16.8%)がやはり最も多くなっていますが、以下「刺身」(8.0%)、「ラーメン」(6.8%)、「うなぎ・うな重」(6.7%)、「うどん・そば」(5.7%)、「天ぷら」(5.5%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(5.3%)、「どんぶりもの(かつ丼、海鮮丼、親子丼、牛丼など)」(5.1%)などさまざまで、回答が分かれています。

国別にみると、「寿司」をあげる割合は《フランス》(24.7%)、《韓国》(28.7%)で特に高くなっています。一方、《イギリス》(6.7%)、《中国》(6.7%)では1割未満と低い割合です。

性別ではあまり大きな差はありません。

年代別にみると、「寿司」は年代が上がるほど高い割合で、《29歳以下》(13.8%)、《30代》(13.4%)の1割程度に比べ、《50歳以上》(30.1%)では3割に達しています。

11. 自国で知られている日本の食品・食材、自国で最も人気がある食品・食材、自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材

自国で知られている日本の食品・食材は、「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(48.7%)をはじめ、「お酒(日本酒、焼酎など)」(43.3%)、「即席めん」(40.4%)、「牛肉」(40.4%)などさまざま。

●《フランス》では総じて高く、《中国》では低い割合の項目が多い。

自国で最も人気がある食品・食材は、「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(17.2%)がやはり最も多く、以下「お酒(日本酒、焼酎など)」(9.7%)、「即席めん」(9.3%)、「牛肉」(8.8%)、「米」(6.2%)などさまざま。

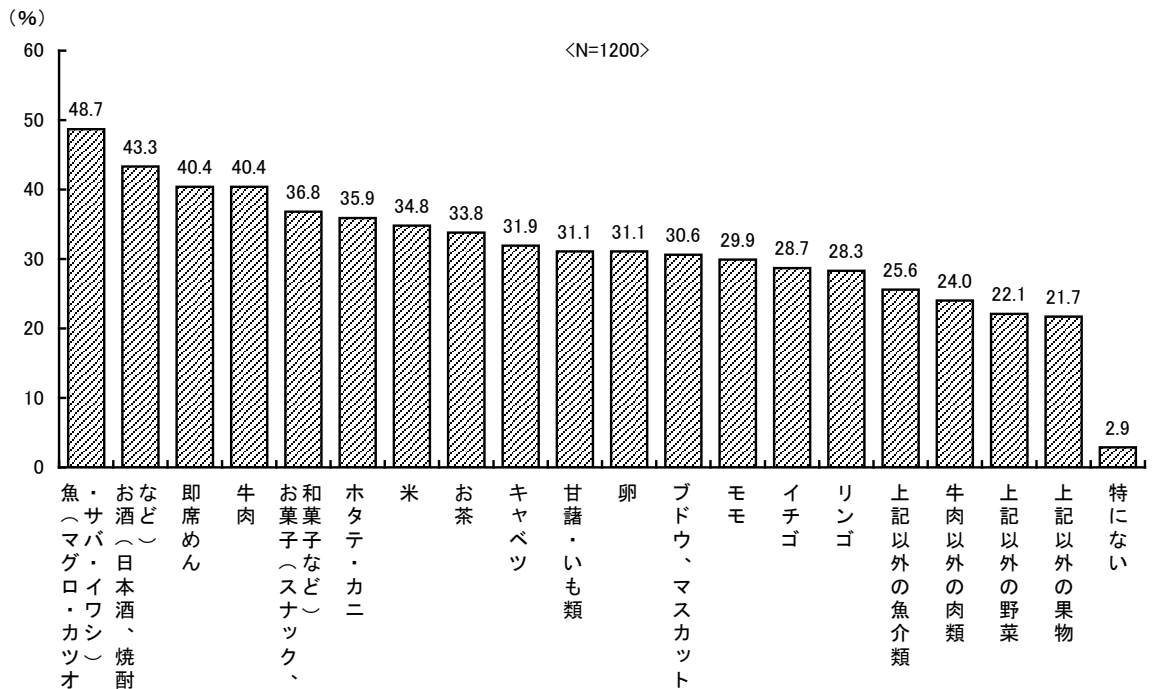
●《中国》《韓国》《イギリス》では「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(順に 22.0%、28.0%、14.0%)が最も多いが、《アメリカ》《フランス》では「即席めん」(順に 13.0%、18.0%)が最も多い。

自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材は、やはり「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」(17.4%)が最も多いが、次いで「牛肉」(9.3%)が2位で、以下「お酒(日本酒、焼酎など)」(8.6%)、「お菓子(スナック、和菓子など)」(8.3%)。

●「魚(マグロ・カツオ・サバ・イワシ)」が最も多い国が多く、特に《中国》(21.7%)、《韓国》(28.0%)で多い。一方、《フランス》では「即席めん」(16.7%)が最も多い。

◆自国で最も食べたい食品・食材を選択した理由は、「味が良い」(54.1%)が半数以上、次いで「新鮮」(24.1%)、「食感が良い」(17.7%)の順。「値段が手ごろ」(3.1%)という回答は少ない。

図 18. 自国で知られている日本の食品・食材 (複数回答)



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>
男性 <n=606>	51.5	45.9	41.3	45.5	35.5
女性 <n=594>	45.8	40.7	39.6	35.2	38.0
29歳以下 <n=195>	51.8	49.2	47.2	47.7	49.7
30代 <n=606>	45.4	38.1	38.0	40.1	32.8
40代 <n=276>	50.7	45.7	39.9	36.6	33.0
50歳以上 <n=123>	55.3	54.5	43.1	39.0	43.9

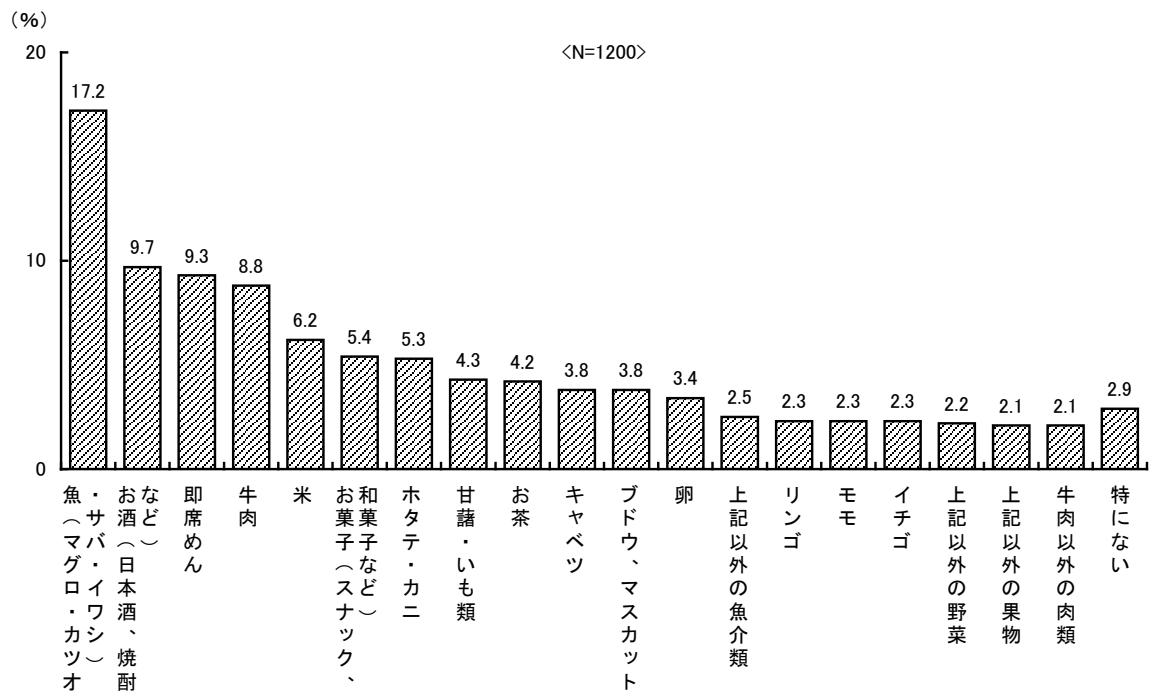
まず、自国で知られている日本の食品・食材は、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」（48.7%）をはじめ、「お酒（日本酒、焼酎など）」（43.3%）、「即席めん」（40.4%）、「牛肉」（40.4%）、「お菓子（スナック、和菓子など）」（36.8%）、「ホタテ・カニ」（35.9%）、「米」（34.8%）、「お茶」（33.8%）など、さまざまな食材が知られています。

国別にみると、《フランス》で「即席めん」（68.0%）、「牛肉」（58.7%）、「ホタテ・カニ」（50.0%）、「米」（62.7%）、「お茶」（58.7%）など、他の国より突出して高い項目が多くなっています。また、《韓国》では「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」（60.7%）、「お酒（日本酒、焼酎など）」（61.3%）が他の国より多いのが目立ちます。一方、《中国》では総じて低い割合の項目が多くなっています。

性別にみると、「牛肉」（男性 45.5%、女性 35.2%）など、わずかずつながら《男性》の方が高い割合の項目がほとんどとなっています。

年代別にみると、「牛肉」「お菓子（スナック、和菓子など）」「ホタテ・カニ」「甘藷・いも類」「モモ」「イチゴ」など、若い人ほど高い割合の項目が多くなっています。

図 19. 自国で最も人気がある食品・食材



属性	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>
魚	9.3	14.0	4.7	22.0	28.0	17.5	16.8	10.3	15.0	22.5	26.8
お酒	6.7	8.0	8.7	4.3	19.3	10.2	9.1	8.2	8.6	10.9	14.6
即席めん	13.0	8.7	18.0	6.0	4.7	8.3	10.3	12.3	7.4	10.9	9.8
牛肉	9.7	4.7	10.7	10.0	7.7	10.7	6.7	6.2	11.2	6.5	5.7
米	10.7	16.0	3.3	1.0	2.3	7.1	5.2	10.8	5.0	5.8	5.7
お菓子	4.3	6.0	2.0	3.0	9.7	4.6	6.2	4.6	4.3	7.6	7.3
ホタテ・カニ	4.3	6.7	4.7	9.0	3.7	4.6	6.1	4.6	6.4	4.0	4.1
甘藷・いも類	3.0	8.0	4.7	6.3	1.3	5.0	3.5	5.1	4.8	3.6	1.6
お茶	4.0	6.7	4.0	4.0	3.3	4.1	4.2	3.1	4.8	3.3	4.9
キャベツ	5.0	3.3	2.7	5.7	1.7	3.1	4.5	2.1	5.3	3.6	-
ブドウ、マスカット	2.3	2.7	3.3	4.7	5.3	4.0	3.7	2.1	4.1	1.8	7.3
卵	4.0	5.3	6.0	3.3	0.7	3.6	3.2	4.1	3.8	2.5	2.4
上記以外の魚介類	3.3	2.7	3.3	2.0	1.7	2.3	2.7	4.1	2.5	2.2	0.8
リンゴ	2.7	2.7	0.7	4.3	0.7	1.8	2.9	2.1	3.0	1.4	1.6
モモ	3.3	2.0	1.3	4.0	0.3	1.2	3.5	1.5	3.3	1.4	0.8
イチゴ	2.7	3.3	0.7	3.0	1.7	2.6	2.0	4.1	2.6	1.4	-
上記以外の野菜	3.3	5.3	0.7	2.0	0.3	1.8	2.5	3.1	2.3	1.8	0.8
上記以外の果物	2.3	2.7	1.3	3.0	1.0	2.3	1.9	2.6	2.1	2.2	0.8
牛肉以外の肉類	1.7	2.0	1.3	2.3	2.0	1.8	2.4	3.6	1.7	2.5	0.8
特になし	4.3	-	5.3	-	4.7	3.3	2.5	4.1	1.8	4.0	4.1

次いで、自国で最も人気がある食品・食材は、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」（17.2%）がやはり最も多

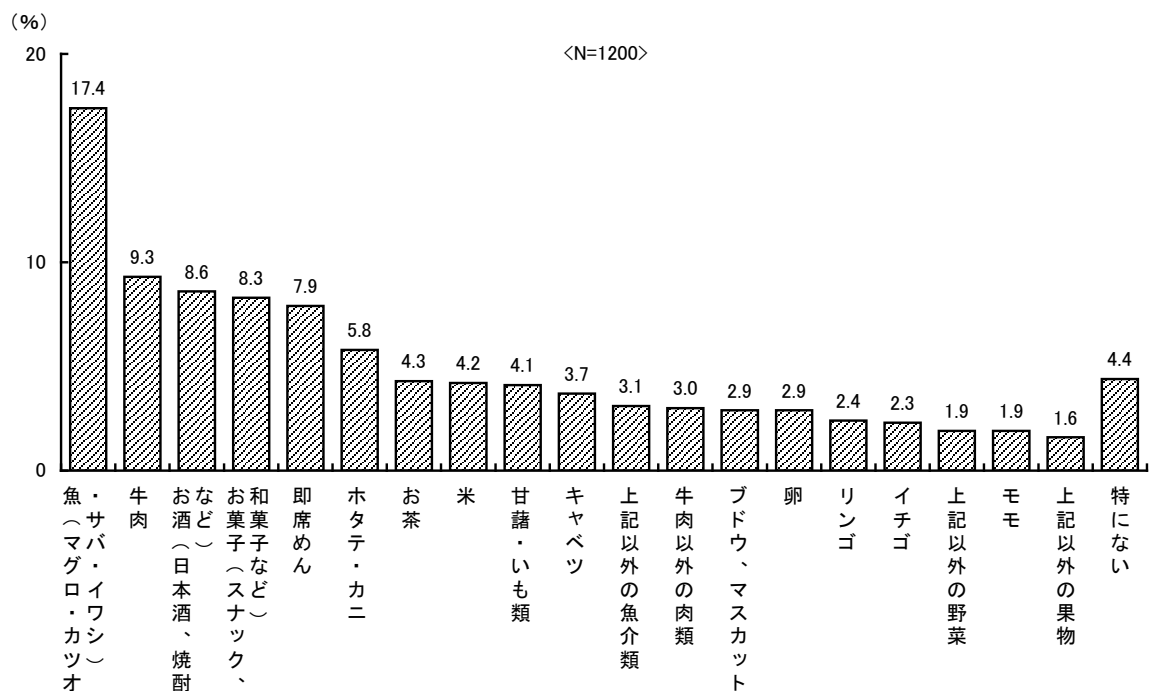
く、以下「お酒（日本酒、焼酎など）」（9.7%）、「即席めん」（9.3%）、「牛肉」（8.8%）、「米」（6.2%）、「お菓子（スナック、和菓子など）」（5.4%）、「ホタテ・カニ」（5.3%）など、さまざまな食品・食材で人気があります。

国別にみると、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」は《中国》（22.0%）、《韓国》（28.0%）で2割台と多くなっています。《イギリス》でも「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」（14.0%）が最も多いのですが、《アメリカ》《フランス》では「即席めん」（順に13.0%、18.0%）が最も多くなっています。

性別ではあまり大きな差はみられません。

年代別にみると、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」「お酒（日本酒、焼酎など）」は年代が上がるほど高い割合となっています。

図 20. 自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材



国別	アメリカ <n=300>	イギリス <n=150>	フランス <n=150>	中国 <n=300>	韓国 <n=300>	男性 <n=606>	女性 <n=594>	29歳以下 <n=195>	30代 <n=606>	40代 <n=276>	50歳以上 <n=123>
魚・サバ・マグロ・カツオ・イワシ	12.3	12.7	2.7	21.7	28.0	18.6	16.2	12.8	16.0	19.9	26.0
牛肉	8.3	6.7	14.0	10.0	8.7	11.6	7.1	5.6	11.1	7.6	10.6
お酒（日本酒、焼酎など）	5.3	11.3	4.7	6.0	15.0	8.9	8.2	7.2	7.8	10.1	11.4
お菓子（スナック、和菓子など）	7.7	10.0	9.3	4.0	12.0	6.8	9.9	15.4	5.6	8.7	9.8
即席めん	10.7	4.0	16.7	6.7	4.0	8.1	7.7	6.7	7.1	9.8	9.8
ホタテ・カニ	6.7	6.7	6.7	6.3	3.7	5.9	5.7	4.6	6.4	4.7	7.3
お茶	4.7	5.3	4.0	4.3	3.3	3.5	5.1	4.1	4.6	5.1	0.8
米	7.7	4.7	7.3	1.3	1.7	4.6	3.7	6.2	3.8	4.3	2.4
甘藷・いも類	3.7	5.3	6.7	5.0	1.7	4.3	3.9	4.1	5.3	2.5	1.6
キャベツ	4.0	5.3	2.0	5.7	1.3	2.8	4.5	1.0	5.6	2.5	0.8
上記以外の魚介類	1.7	4.0	6.7	2.7	2.7	3.6	2.5	3.1	3.3	2.9	2.4
牛肉以外の肉類	2.0	3.3	3.3	2.7	4.0	3.0	3.0	4.1	3.0	2.9	1.6
ブドウ、マスカット	1.7	3.3	2.7	4.0	3.0	2.1	3.7	4.1	3.1	1.8	2.4
卵	3.0	4.0	2.0	5.3	0.3	2.5	3.4	4.1	3.3	2.2	0.8
リンゴ	2.3	3.3	-	5.3	0.3	1.5	3.4	3.1	2.6	1.8	1.6
イチゴ	3.7	1.3	2.0	3.0	0.7	2.5	2.0	2.1	2.1	3.3	0.8
上記以外の野菜	3.7	3.3	-	2.0	0.3	1.8	2.0	3.6	1.8	1.4	0.8
モモ	3.7	2.7	-	2.3	0.3	1.8	2.0	1.0	2.6	1.4	0.8
上記以外の果物	2.7	2.0	-	1.7	0.7	1.8	2.0	1.5	1.8	1.8	-
特になし	4.7	0.7	8.7	-	8.3	4.3	4.5	5.6	3.0	5.1	8.1

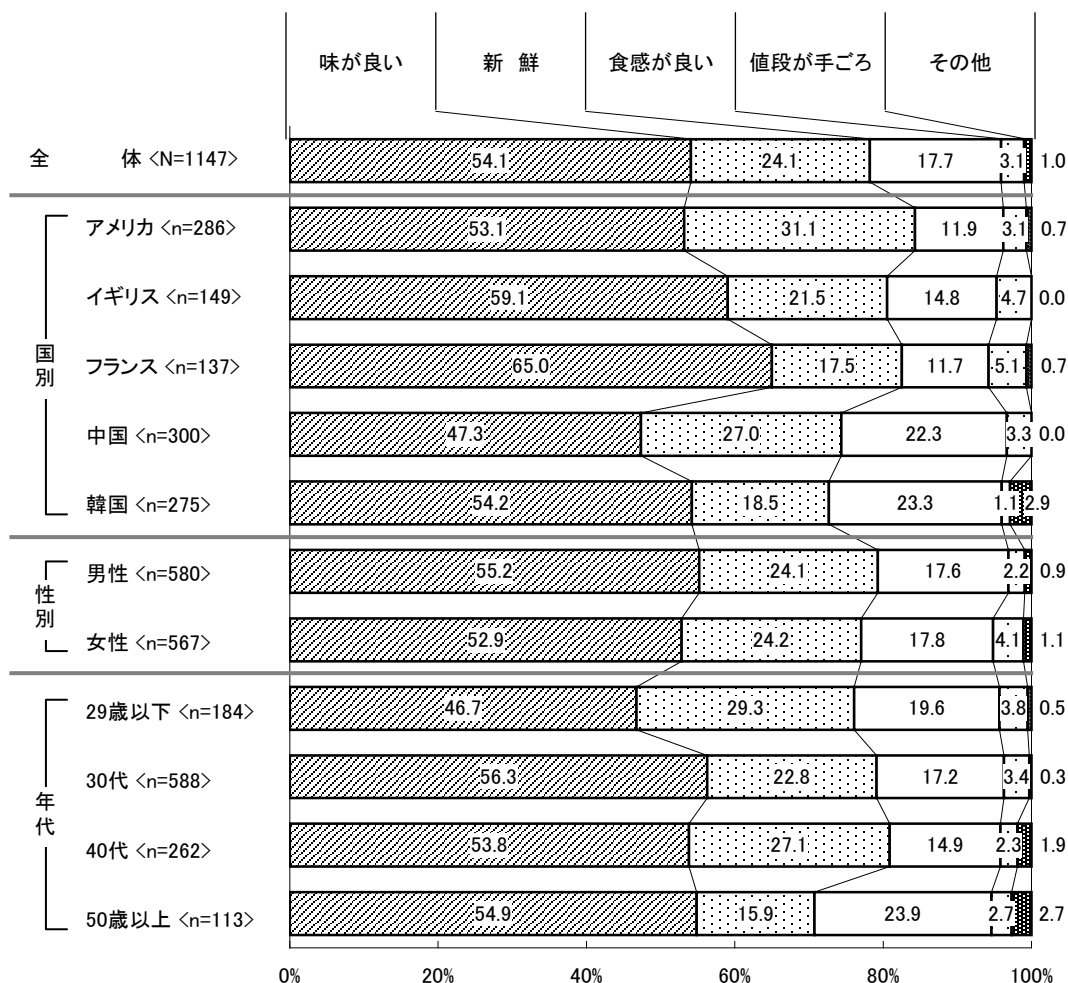
最後に、自国で最も食べたいと思う日本の食品・食材は、やはり「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」（17.4%）が最も多くなっていますが、次いで「牛肉」（9.3%）が2番目にあげられており、以下「お酒（日本酒、焼酎など）」（8.6%）、「お菓子（スナック、和菓子など）」（8.3%）、「即席めん」（7.9%）、「ホタテ・カニ」（5.8%）などが続いています。

国別にみると、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」が最も多い国が多くなっていますが、特に《中国》（21.7%）、《韓国》（28.0%）では2割台を占めています。一方、《フランス》では「即席めん」（16.7%）が最も多くなっています。

性別にみると、「牛肉」（男性 11.6%、女性 7.1%）は《男性》の方が、「お菓子（スナック、和菓子など）」（同 6.8%、9.9%）は《女性》の方が、それぞれ少し高い割合となっています。

年代別にみると、「魚（マグロ・カツオ・サバ・イワシ）」などは年代が上がるほど、「お菓子（スナック、和菓子など）」などは《29歳以下》で、それぞれ高い割合となっています。

図 21. 自国で最も食べたい食品・食材を選択した理由



自国で最も食べたい食品・食材を選択した理由をみると、「味が良い」（54.1%）が半数以上を占め、次いで「新鮮」（24.1%）、「食感が良い」（17.7%）の順となっています。「値段が手ごろ」（3.1%）という回答はわずかとなっています。

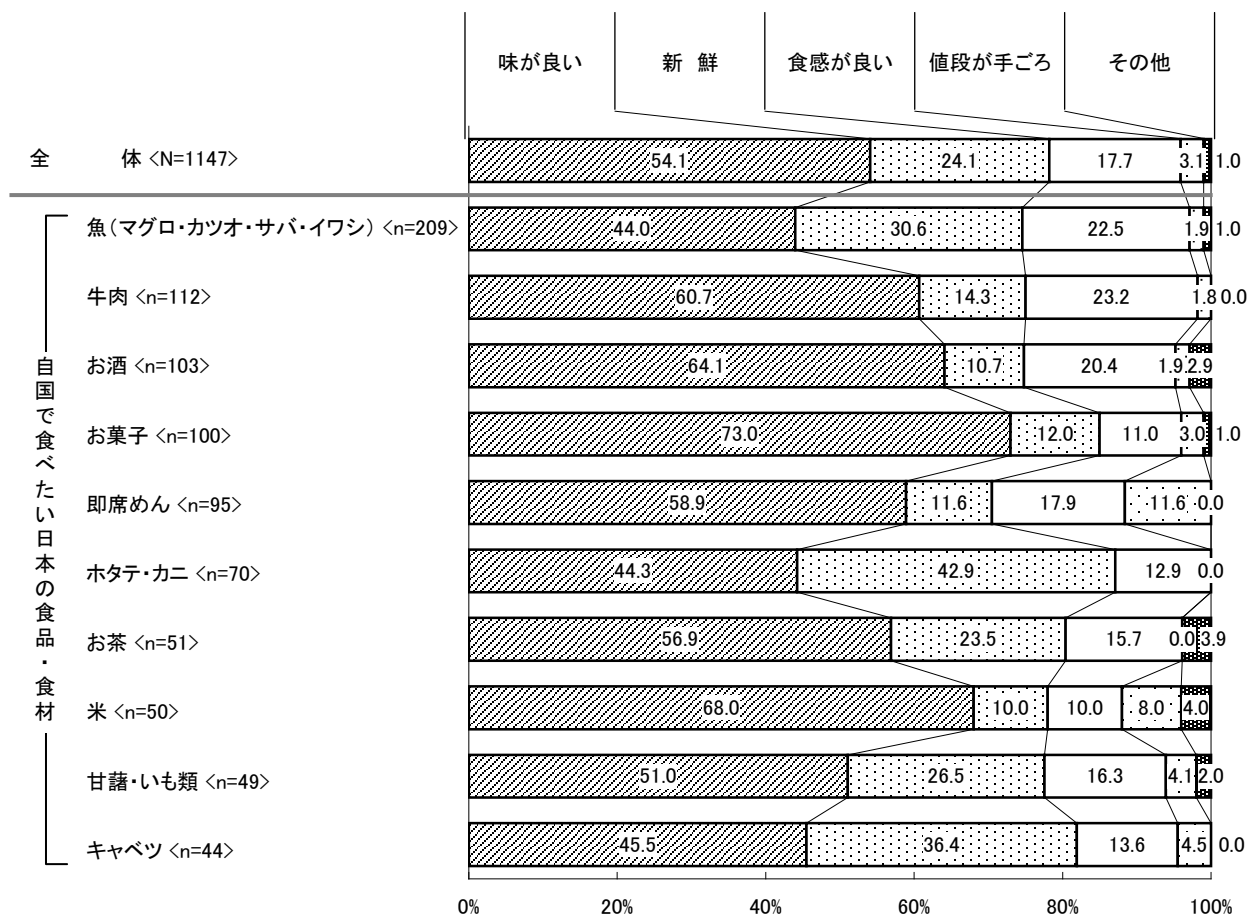
国別にみると、いずれの国でも「味が良い」が最も多くなっていますが、特に《フランス》（65.0%）で多くなっています。一方、《中国》《韓国》では「食感が良い」（順に 22.3%、23.3%）の割合が高めです。

性別ではあまり差はありません。



年代別にみると、《29歳以下》では「味が良い」(46.7%)の割合が低めで、「新鮮」(29.3%)が高めです。

図 22. 自国で最も食べたい食品・食材を選択した理由（最も食べたい食品・食材別）



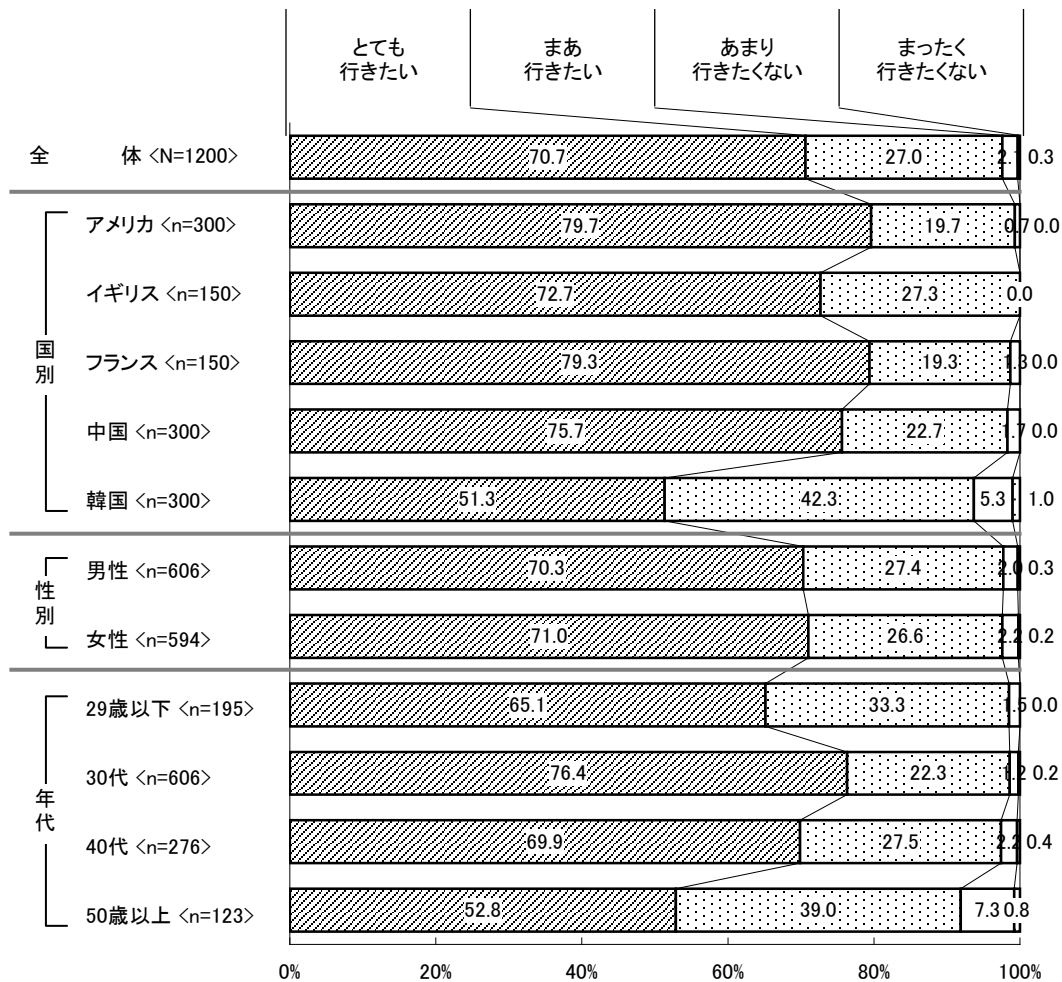
自国で最も食べたい食品・食材として40名以上が回答した食品・食材別に、選択した理由をみると、いずれの食品・食材でも「味が良い」が最も多くなっていますが、特に《お菓子》(73.0%)や《米》(68.0%)で高くなっています。また、《ホタテ・カニ》《キャベツ》では「新鮮」(順に42.9%、36.4%)も多くなっています。

## 12. また日本に行きたいと思うか

「とても行きたい」(70.7%)、「まあ行きたい」(27.0%)を合わせた“行きたい”(97.7%)という回答がほとんど。

●「とても行きたい」の割合は、《韓国》(51.3%)では半数程度で、他の国の7割台に比べて低い。

図 23. また日本に行きたいと思うか



「とても行きたい」(70.7%)が7割を超え、「まあ行きたい」(27.0%)を合わせると97.7%と、ほとんどの人が“行きたい”と答えています。

国別にみると、“行きたい(とても+まあ)”の割合はいずれも100%に近く、差はありませんが、「とても行きたい」の割合は、《韓国》(51.3%)では半数程度で、他の国の7割台に比べて低めです。

性別ではほとんど差はありません。

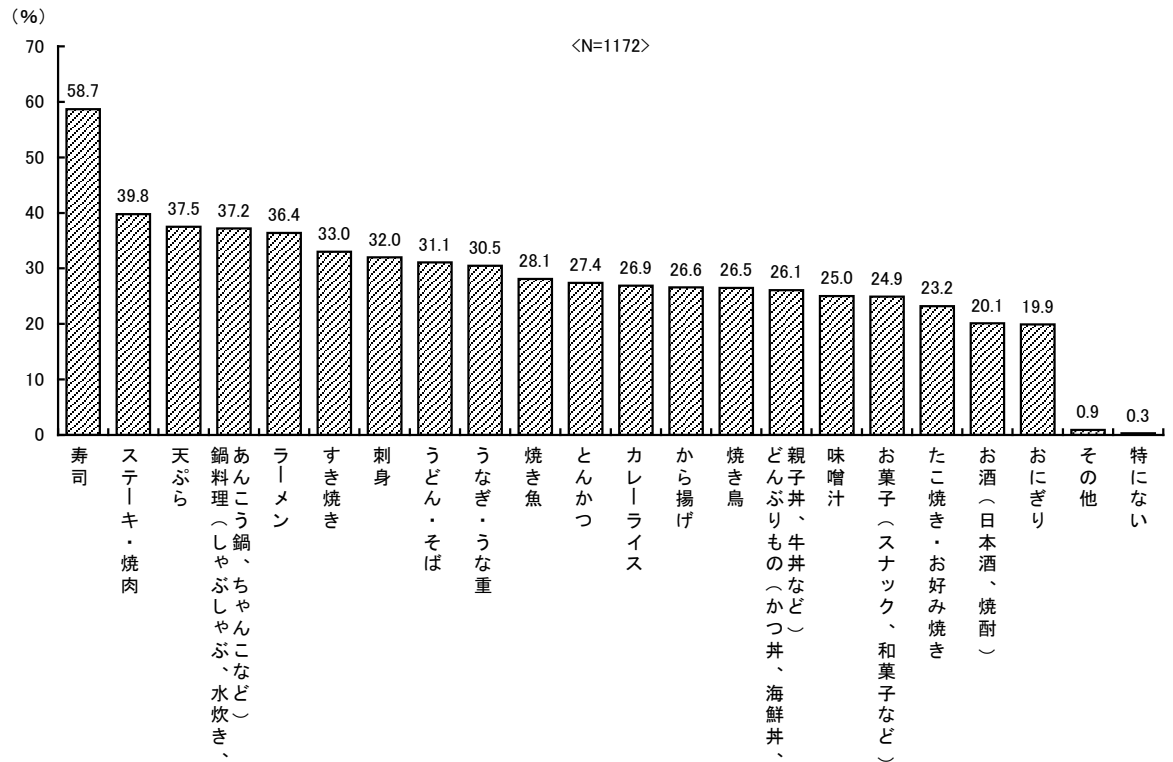
年代別にみると、「とても行きたい」の割合は、《30代》(76.4%)をピークとしており、《50歳以上》(52.8%)より20ポイント以上高くなっています。

### 13. また日本に行ったら、何が食べたいか

「寿司」(58.7%)がやはり最も多く、以下「ステーキ・焼肉」(39.8%)、「天ぷら」(37.5%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(37.2%)、「ラーメン」(36.4%)などの順。

●いずれの国でも「寿司」が最も多いが、《アメリカ》《中国》では次いで「ステーキ・焼肉」(順に 49.0%、38.3%)、《イギリス》では「天ぷら」と「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(ともに 42.0%)、《フランス》では「ラーメン」と「焼き鳥」(ともに 43.9%)、《韓国》では「ラーメン」(43.8%)が、それぞれ2位。

図 24. また日本に行ったら、何が食べたいか



属性	アメリカ <n=298>	イギリス <n=150>	フランス <n=148>	中国 <n=295>	韓国 <n=281>	男性 <n=592>	女性 <n=580>	29歳以下 <n=192>	30代 <n=598>	40代 <n=269>	50歳以上 <n=113>
寿司	57.4	63.3	63.5	46.1	68.3	65.2	52.1	56.8	57.9	61.7	59.3
ステーキ・焼肉	49.0	39.3	31.8	38.3	36.3	43.8	35.9	43.2	41.6	33.8	38.9
天ぷら	46.0	42.0	40.5	35.9	26.3	36.5	38.6	35.9	41.3	32.3	32.7
鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)	42.6	42.0	31.1	28.5	41.3	36.7	37.8	44.8	36.3	33.1	38.9
ラーメン	39.6	36.7	43.9	22.4	43.8	37.8	35.0	43.8	30.9	39.8	45.1
すき焼き	33.2	40.7	37.2	35.6	23.8	32.1	34.0	32.3	36.8	29.4	23.0
刺身	34.6	32.0	37.2	33.2	25.3	32.3	31.7	26.6	32.6	32.3	37.2
うどん・そば	27.5	28.7	35.1	25.4	40.2	30.6	31.7	33.9	29.1	30.9	38.1
うなぎ・うな重	28.2	33.3	18.9	29.2	39.1	31.8	29.3	22.9	31.4	30.5	38.9
焼き魚	39.3	32.7	31.1	23.1	17.4	29.9	26.2	31.8	25.1	31.6	29.2
とんかつ	27.5	32.7	22.3	20.3	34.5	31.6	23.1	28.1	27.8	26.0	27.4
カレーライス	36.9	30.7	36.5	22.7	13.5	26.7	27.1	34.9	25.9	24.2	24.8
から揚げ	30.2	35.3	26.4	23.1	22.1	27.2	26.0	33.9	27.4	22.3	20.4
焼き鳥	27.5	26.0	43.9	18.6	24.9	28.5	24.5	30.7	25.9	25.3	15.0
親子丼、牛丼など	26.8	26.0	29.1	13.9	36.7	27.9	24.3	30.7	20.9	29.7	37.2
味噌汁	31.9	26.7	33.1	20.0	17.8	25.3	24.7	31.3	23.9	23.0	24.8
お菓子(スナック、和菓子など)	32.2	22.0	30.4	15.9	25.3	23.0	26.9	32.3	21.9	25.7	26.5
たこ焼き・お好み焼き	21.1	28.7	21.6	20.0	26.7	23.0	23.4	28.6	22.9	22.3	21.2
お酒(日本酒、焼酎)	26.5	9.3	23.0	10.8	27.0	24.3	15.7	22.9	16.6	21.6	30.1
おにぎり	19.8	28.0	23.0	15.9	18.1	19.8	20.0	27.1	18.1	19.0	19.5
その他	0.3	1.3	2.7	1.0	0.4	1.2	0.7	1.6	0.8	0.7	0.9
特にない	0.3	-	-	-	0.7	0.2	0.3	0.5	-	0.4	0.9

「寿司」(58.7%)がやはり最も多く、以下「ステーキ・焼肉」(39.8%)、「天ぷら」(37.5%)、「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(37.2%)、「ラーメン」(36.4%)、「すき焼き」(33.0%)、「刺身」(32.0%)、「うどん・そば」(31.1%)、「うなぎ・うな重」(30.5%)などの順となっています。

国別にみると、いずれの国でも「寿司」が最も多くなっていますが、《アメリカ》《中国》では次いで「ステーキ・焼肉」(順に 49.0%、38.3%)、《イギリス》では「天ぷら」と「鍋料理(しゃぶしゃぶ、水炊き、あんこう鍋、ちゃんこなど)」(ともに 42.0%)、《フランス》では「ラーメン」と「焼き鳥」(ともに 43.9%)、《韓国》では「ラーメン」(43.8%)が、それぞれ2位にあげられています。

性別にみると、やはり男女とも「寿司」が最も多くなっていますが、《男性》(65.2%)の方が《女性》(52.1%)よりも10ポイント以上高い割合です。また、「ステーキ・焼肉」(男性43.8%、女性35.9%)、「とんかつ」(同31.6%、23.1%)、「お酒(日本酒、焼酎)」(同24.3%、15.7%)などでも《男性》の方が高い割合となっています。

年代別にみると、やはりいずれの年代でも「寿司」が最も多くなっていますが、「ステーキ・焼肉」の割合は若い人ほど高い傾向がみられます。